

## 2 家庭生活・地域活動について

### (1) 結婚観について

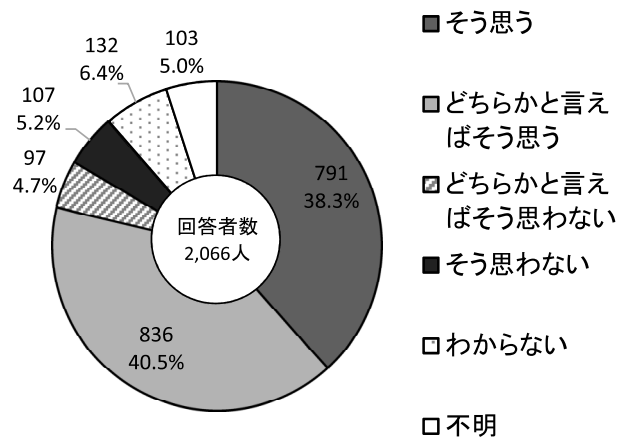
問7 あなたは、「結婚」についてどのようなイメージをお持ちですか。(各項目1つ選択)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない	わからない
(1) 家庭を持つことによりやすらぎや精神的充足が得られる	1	2	3	4	5
(2) 結婚により社会的評価が安定する	1	2	3	4	5
(3) 経済的にゆとりのある生活を送ることができる	1	2	3	4	5
(4) 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる	1	2	3	4	5
(5) 様々な経験が増え、自分が成長できる	1	2	3	4	5
(6) 結婚すると自由がなくなる	1	2	3	4	5
(7) 他人と暮らす面倒さがある	1	2	3	4	5

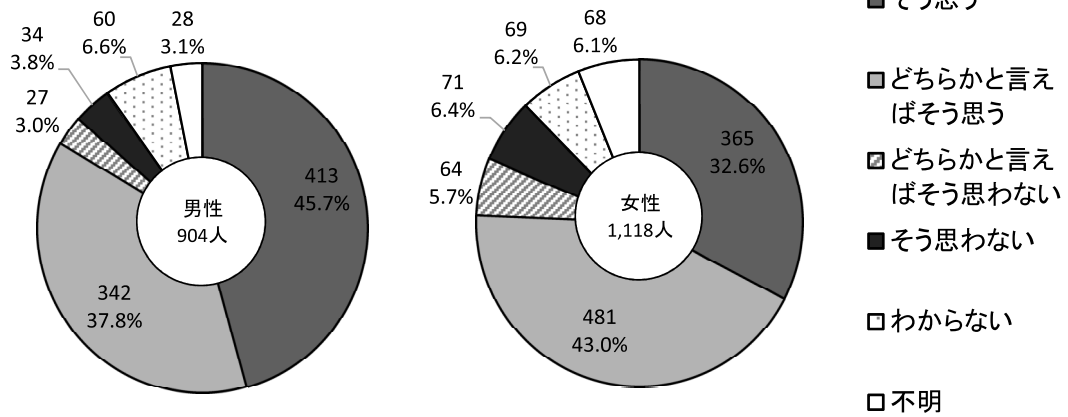
#### ア やすらぎや精神的充足

「家庭を持つことによりやすらぎや精神的充足が得られる」について、「そう思う」が38.3%、「どちらかといえばそう思う」が40.5%で、全体の8割がやすらぎや精神的充足が得られると“思う”と感じている。

問7- (1) やすらぎや精神的充足が得られる



問7-(1) やすらぎや精神的充足が得られる【男女別】

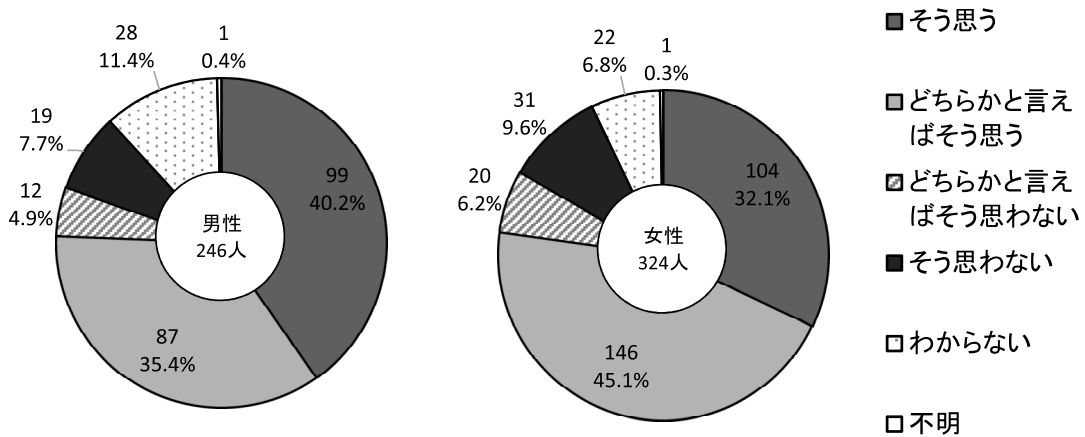


男女別にみると、やすらぎや精神的充足が得られると“思う”（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は、男性で83.5%、女性で75.6%と、男性の方が7.9ポイント上回っており、男性の方が家庭を持つもとにプラスイメージを持っている。

前回調査と比較すると、得られると“思う”割合は、男性ではほぼ変化が見られない（83.8%→83.5%）ものの、女性は若干低下しており（77.5%→75.6%）、男女で少し意識の差が広がっている。

50歳未満でみると、得られると“思う”割合は、男性で75.6%、女性で77.2%と、女性の方が1.6ポイント高くなっており、比較的若い世代では、女性の方がプラスイメージが強いことがうかがえる。

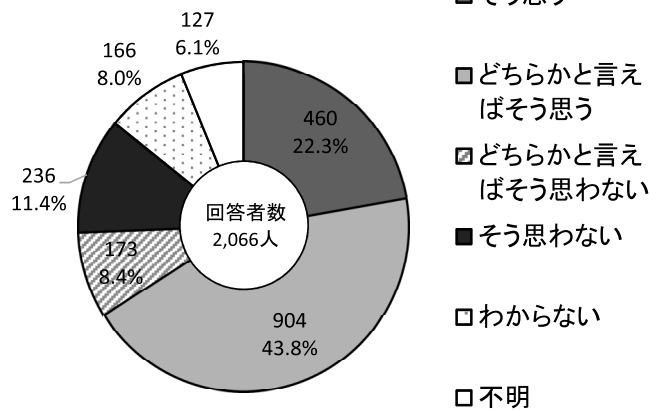
問7-(1) やすらぎや精神的充足が得られる【男女別・50歳未満】



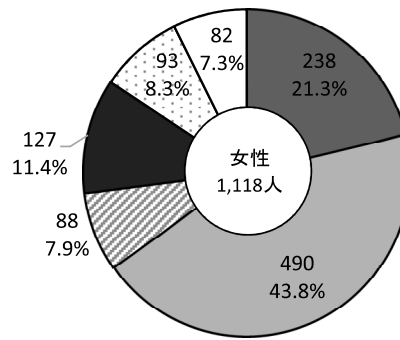
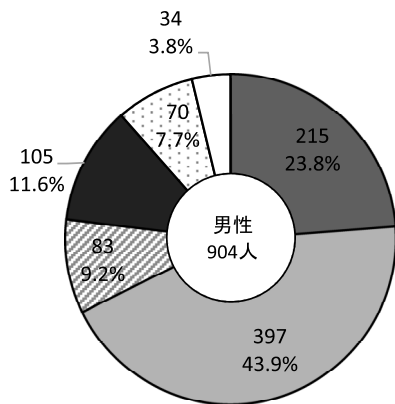
## イ 社会的評価

「結婚により社会的評価が安定する」について、「そう思う」が22.3%、「どちらかと言えばそう思う」が43.8%で、全体の66.1%が、結婚は社会的評価に影響すると“思う”と感じている。

問7-(2) 社会的評価が安定する



問7-(2) 社会的評価が安定する【男女別】

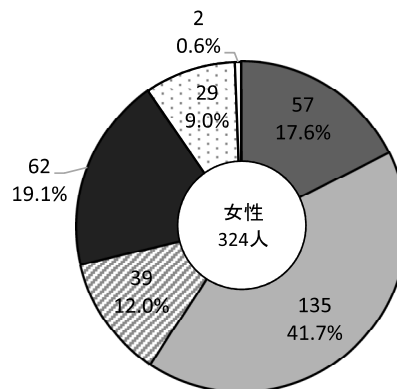
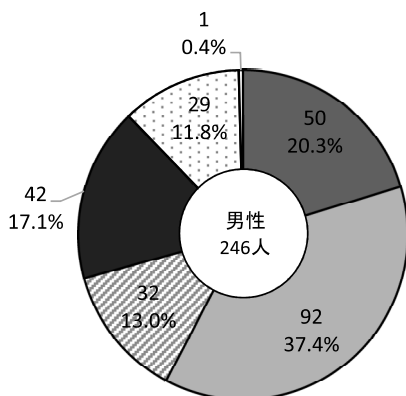


男女別にみると、社会的評価が安定すると“思う”割合は、男性で67.7%、女性で65.1%と、男性の方が2.6ポイント上回っており、男性の方が結婚は社会的評価につながると感じている。

前回調査と比較すると、安定すると“思う”割合は、男性で4.5ポイント減(72.2%→67.7%)、女性で0.9ポイント増(64.2%→65.1%)と、男性は安定すると“思う”割合が多いものの前回より下降している。

50歳未満でみると、安定する“思う”割合は、男性で57.7%、女性で59.3%と全体より低く、比較的若い世代では、男女共に結婚と社会的評価を結び付けて考えない人が多い傾向がある。

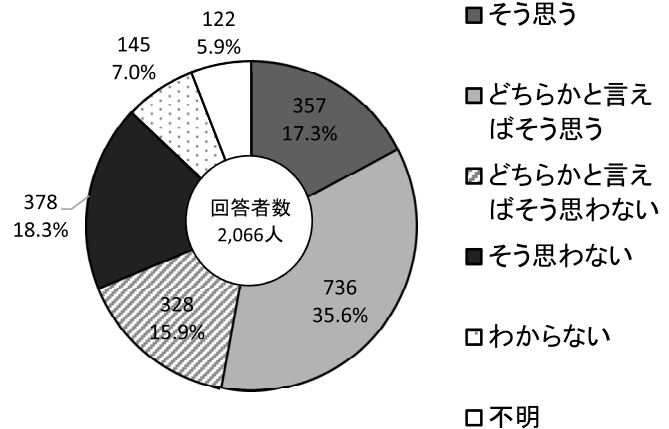
問7-(2) 社会的評価が安定する【男女別・50歳未満】



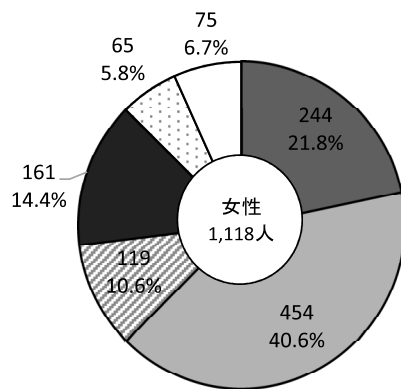
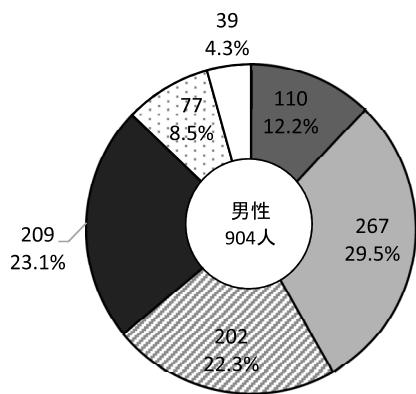
## ウ 経済的にゆとりある生活

「経済的にゆとりのある生活を送ることができる」について、「そう思う」が17.3%、「どちらかと言えばそう思う」が35.6%で、全体の半数はゆとりのある生活が送れると“思う”と感じているが、「そう思わない」が18.3%、「どちらかと言えばそう思わない」が15.9%で、3割は送れると“思わない”と感じている。

問7-(3) 経済的にゆとりのある生活を送れる



問7-(3) 経済的にゆとりのある生活を送れる【男女別】

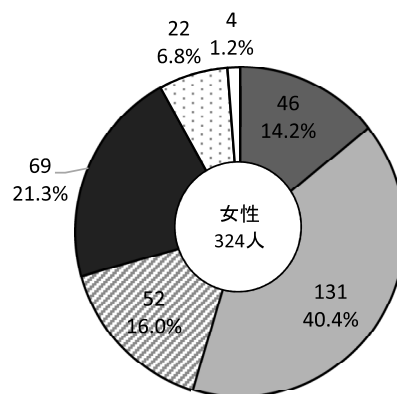
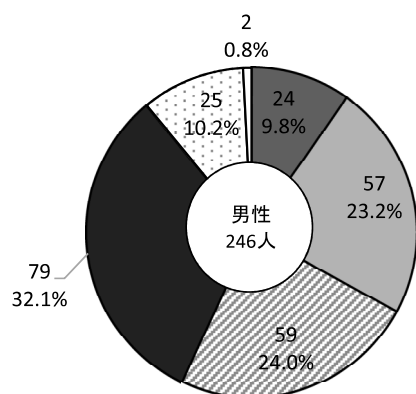


男女別にみると、経済的にゆとりのある生活を送れると“思う”割合は、男性で41.7%、女性で62.4%で、男性では“思わない”割合が45.4%と高くなっており、結婚が経済的なゆとりにつながらないと感じている。

前回調査と比較すると、ゆとりある生活が送れると“思う”割合は、男女共に若干上昇している（男性：39.6%→41.7%、女性：57.8%→62.4%）。

50歳未満でみると、ゆとりある生活が送れると“思う”割合は、男性で33.0%、女性で54.6%と全体より低く、かつ男女で20ポイント以上の差があり、男女の意識の差が大きくなっている。

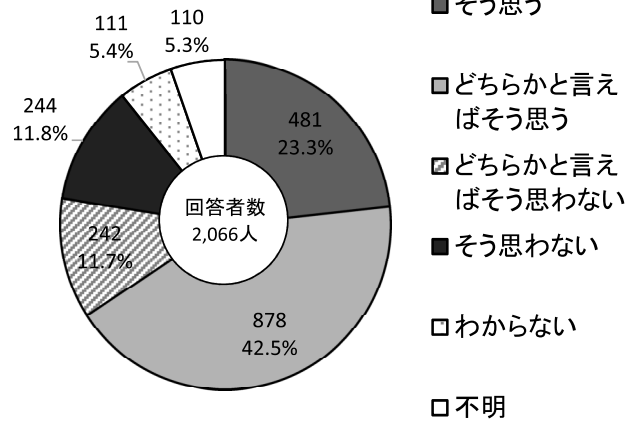
問7-(3) 経済的にゆとりのある生活を送れる【男女別・50歳未満】



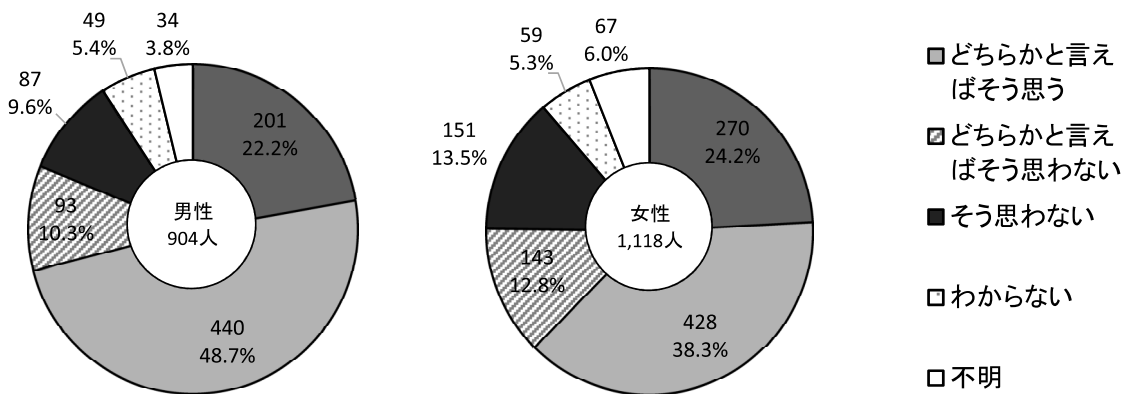
## エ 日常生活の協力・分担

「協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる」について、「そう思う」が23.3%、「どちらかと言えばそう思う」が42.5%で、全体の65.8%は楽になると「思う」と感じている。

問7-(4) 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる



問7-(4) 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる【男女別】

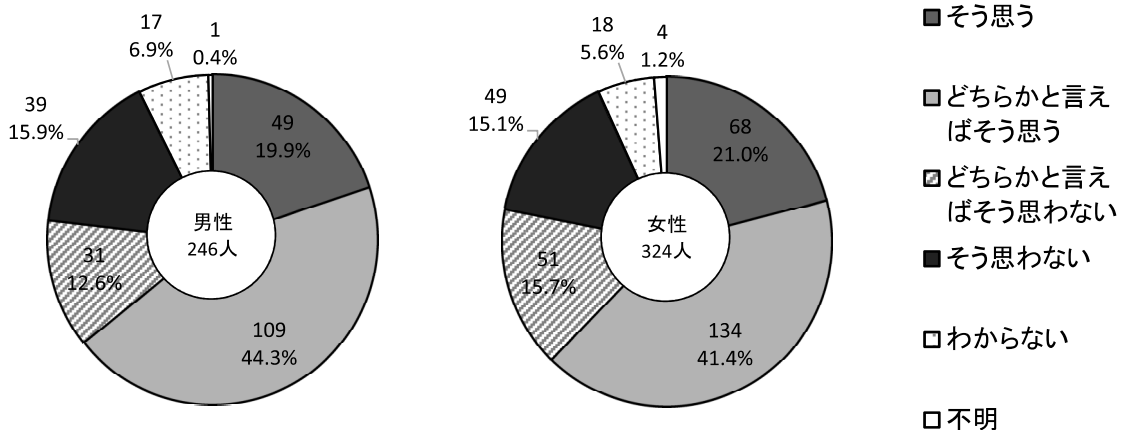


男女別にみると、日常生活が楽になると「思う」割合は、男性で70.9%、女性62.5%と、女性の方が8.4ポイント下回っており、女性の方が楽になると感じる人の割合が少なくなっている。

前回調査と比較すると、楽になると「思う」割合は、男性で1.4ポイント減（72.3%→70.9%）、女性で2.5ポイント減（65.0%→62.5%）と、男女共に若干下降している。

50歳未満でみると、楽になると「思う」割合は、男性で64.2%、女性で62.4%と、比較的若い世代では、男女の差が少なくなり、男性も日常生活が楽になるとはあまり感じていないことがうかがえる。

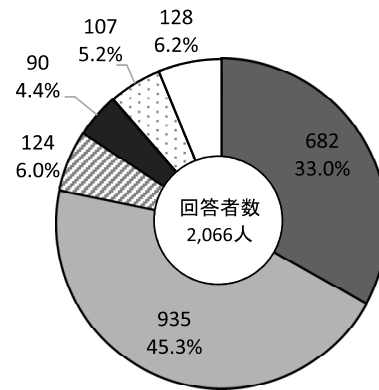
問7-(4) 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる【男女別・50歳未満】



## オ 自分の成長

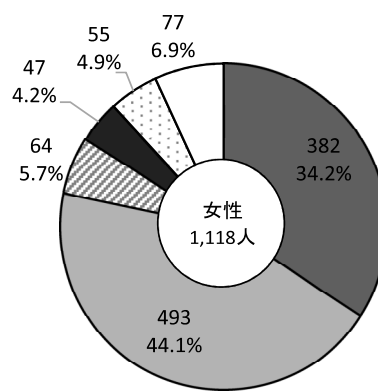
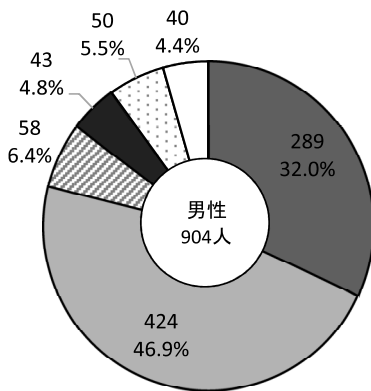
「様々な経験が増え、自分が成長できる」について、「そう思う」が33.0%、「どちらかと言えばそう思う」が45.3%で、全体の78.3%が、自分が成長できると“思う”と感じている。

問7ー(5) 様々な経験が増え、自分が成長できる



- そう思う
- ▣ どちらかと言えばそう思う
- ▤ どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 不明

問7ー(5) 様々な経験が増え、自分が成長できる【男女別】

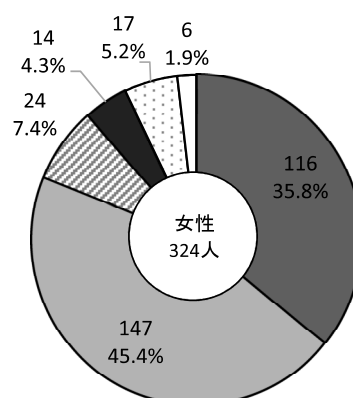
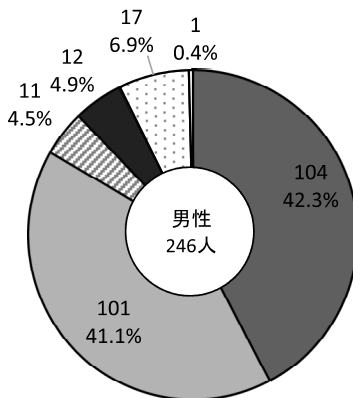


- そう思う
- ▣ どちらかと言えばそう思う
- ▤ どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 不明

男女別にみると、自分が成長できると“思う”割合は、男性で78.9%、女性で78.3%と、男女共に多くの人が自分の成長につながると感じている。

50歳未満でみると、成長できると“思う”割合は、男性で83.4%、女性で81.2%と全体よりさらに高く、比較的若い世代では、男女共に結婚が自分の成長につながる経験と捉えていることがうかがえる。

問7ー(5) 様々な経験が増え、自分が成長できる【男女別・50歳未満】



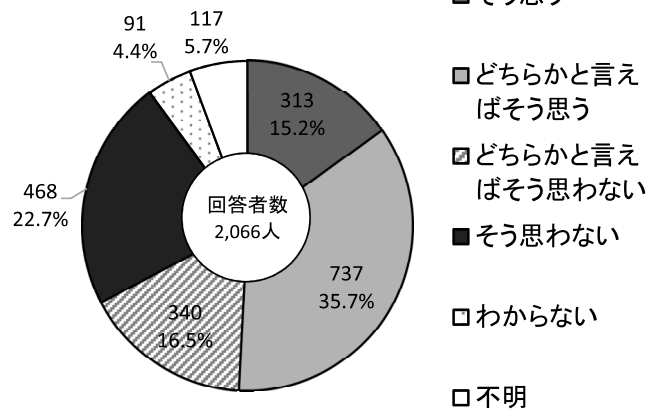
- そう思う
- ▣ どちらかと言えばそう思う
- ▤ どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 不明

## カ 自由がなくなる

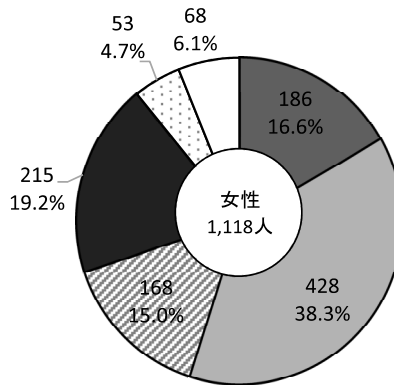
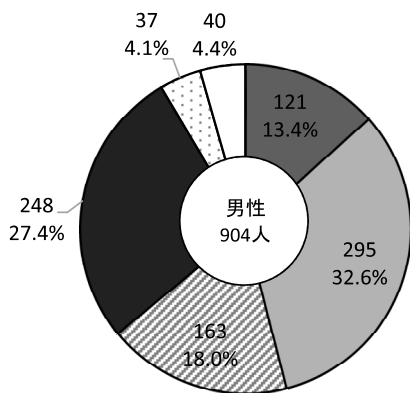
「結婚すると自由がなくなる」について、「そう思う」が 15.2%、「どちらかと言えばそう思う」が 35.7%で、全体の半数は自由がなくなると“思う”と感じている。

一方で、「どちらかと言えばそう思わない」が 22.7%、「そう思わない」が 16.5%で、4割は“思わない”と回答している。

問7-(6) 結婚すると自由がなくなる



問7-(6) 結婚すると自由がなくなる【男女別】

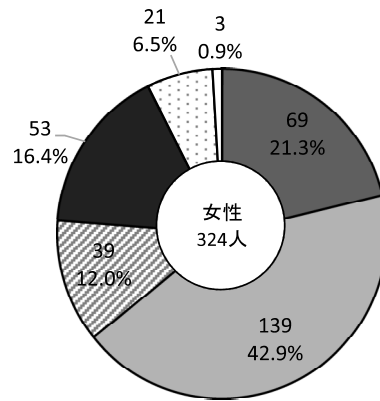
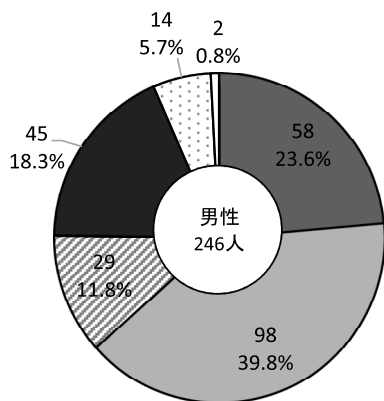


男女別にみると、結婚すると自由がなくなると“思う”割合は、男性で 46.0%、女性で 54.9%と、女性の方が 8.9 ポイント上回っており、女性は結婚により自由がなくなると感じる割合が高い。

前回調査と比較すると、自由がなくなると“思う”割合は、男性で 2.6 ポイント増 (43.4%→46.0%)、女性で 0.7 ポイント増 (54.2%→54.9%) と、男女共に若干上昇している。

50 歳未満でみると、自由がなくなると“思う”割合は、男性で 63.4%、女性で 64.2%と全体より高く、特に男性の比較的若い世代は、自由がなくなると“思う”割合が大幅に上昇し、男女の意識の差は少なくなっている。

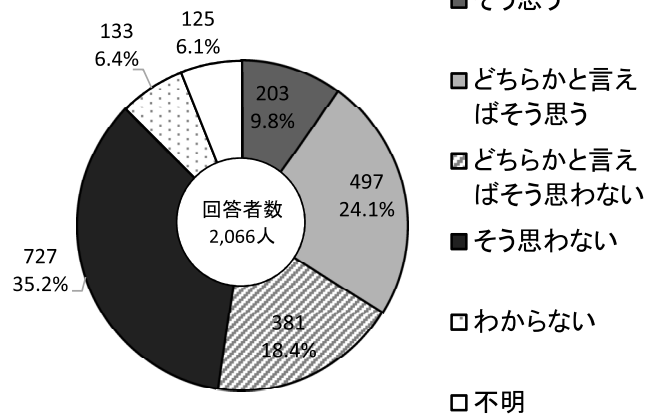
問7-(6) 結婚すると自由がなくなる【男女別・50歳未満】



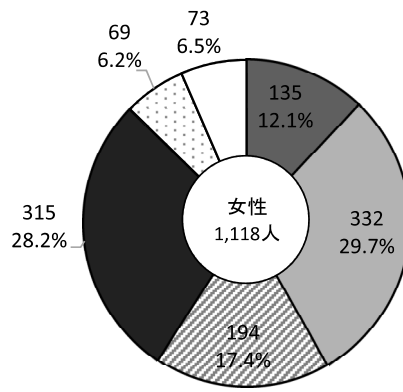
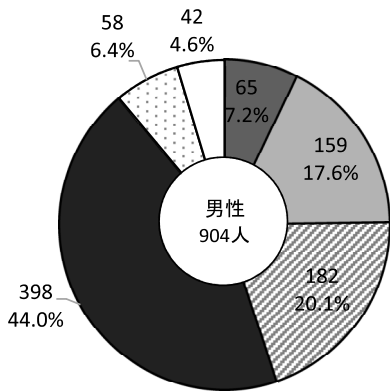
## キ 面 倒

「他人と暮らす面倒さがある」について、「そう思う」が9.8%、「どちらかと言えばそう思う」が24.1%で、全体の3割が面倒だと“思う”と感じているが、「そう思わない」が35.2%、「どちらかと言えばそう思わない」が18.4%で、半数は“思わない”と回答している。

問7-(7) 他人と暮らす面倒さがある



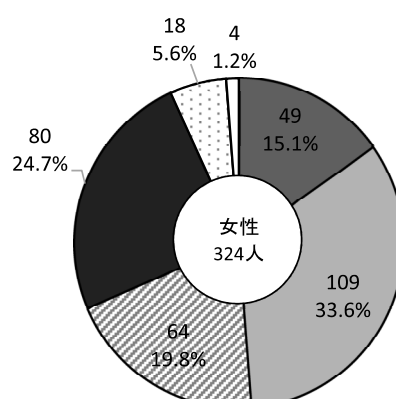
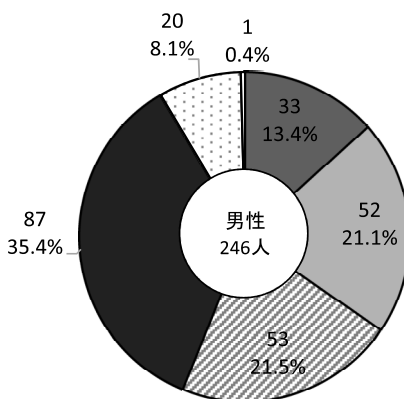
問7-(7) 他人と暮らす面倒さがある【男女別】



男女別にみると、他人と暮らす面倒さがあると“思う”割合は、男性で24.8%、女性で41.8%と、女性の方が17.0ポイント上回っており、男女の意識の差が大きくなっている。

50歳未満でみると、面倒さがあると“思う”割合は、男性で34.5%、女性で48.7%と、男女共に割合が高くなり、特に比較的若い世代の女性では、“思う”割合が半数近くで、結婚に面倒臭さを感じる人が多くなっている。

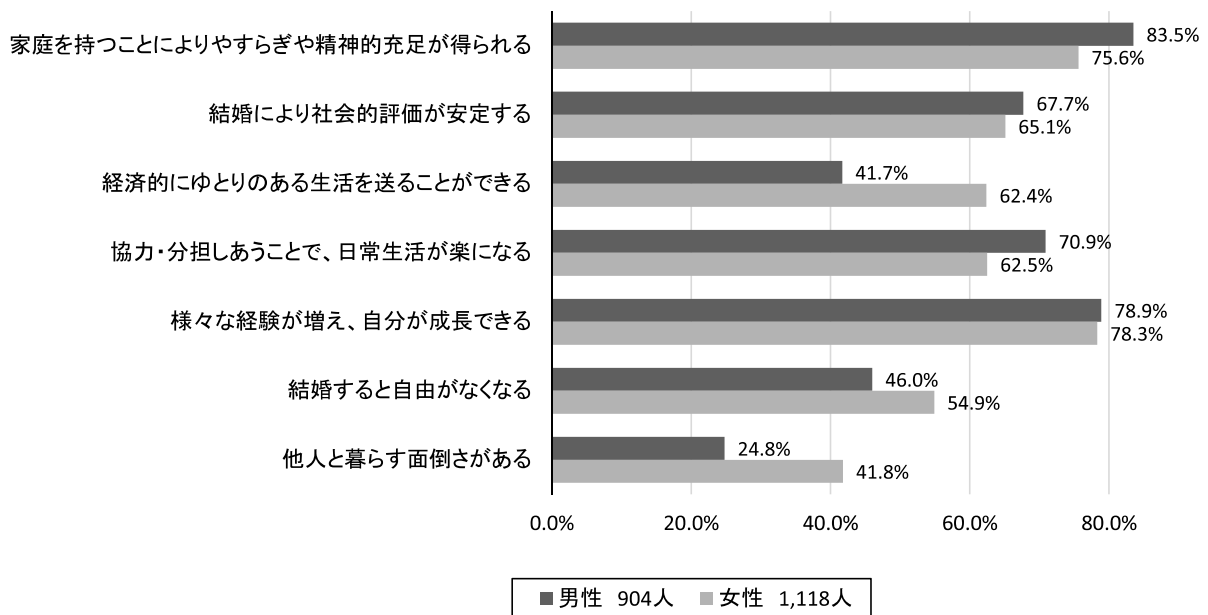
問7-(7) 他人と暮らす面倒さがある【男女別・50歳未満】





## ク 結婚観の比較

問7 結婚観（「そう思う」「どちらかというと思う」の合計）【男女別】

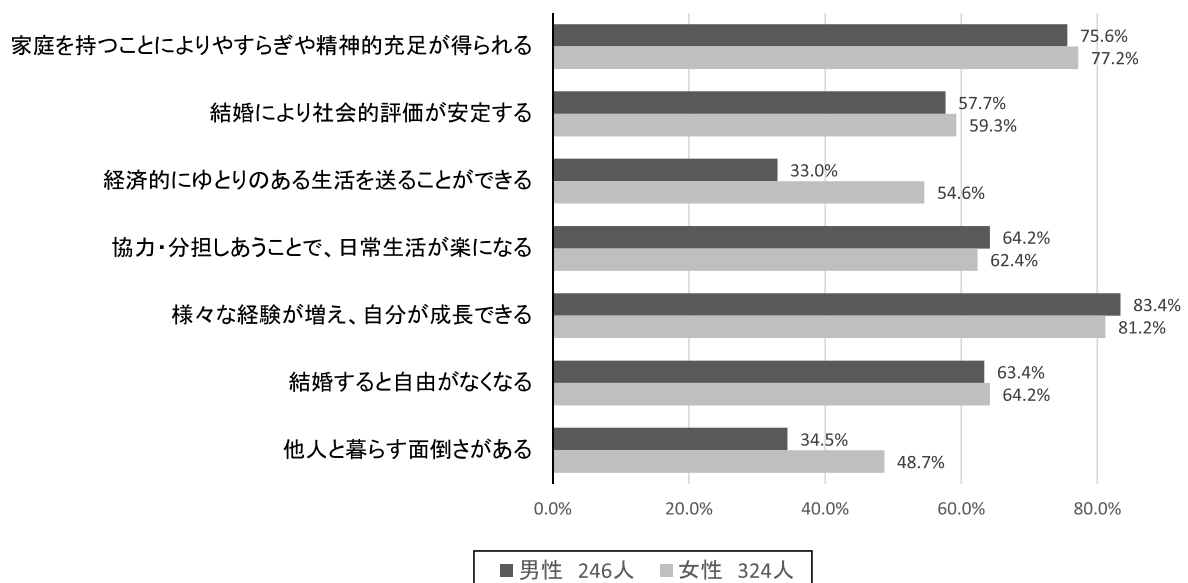


各項目について、「思う」（「そう思う」「どちらかというと思う」の合計）割合を男女別に比較してみると、男性の方が割合の高い項目は、「やすらぎや精神的充足が得られる」、「協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる」、「結婚により社会的評価が安定する」等となっている。

一方、女性の方が割合の高い項目は、「経済的にゆとりのある生活を送ることができる」、「結婚すると自由がなくなる」、「他人と暮らす面倒さがある」等となっており、男女の意識の差があらわれている。

また、50歳未満でみると、男女共に「様々な経験は増え、自分が成長できる」が最も高くなっている。「経済的にゆとりのある生活を送ることができる」と「他人と暮らす面倒さがある」については、他項目と比較して男女の意識の差が大きくなっている。

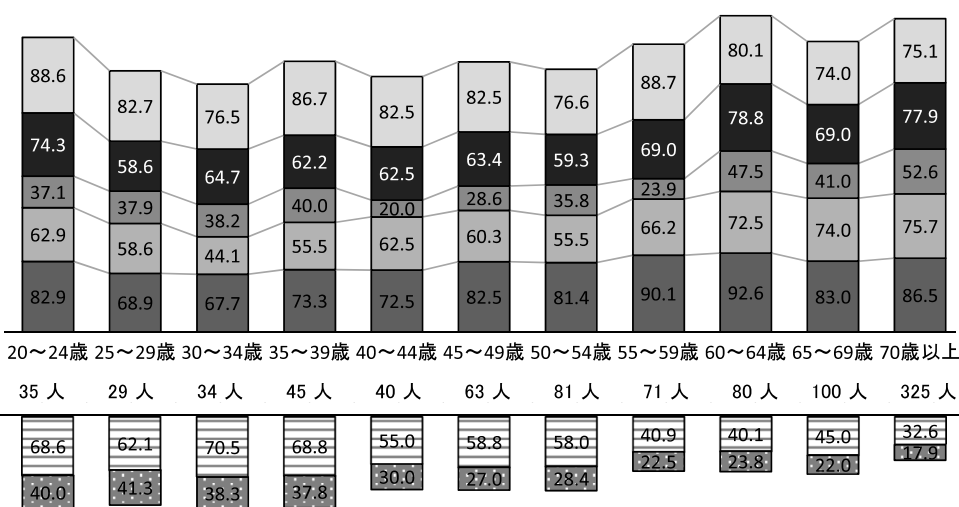
問7 結婚観（「そう思う」「どちらかというと思う」の合計）【男女別・50歳未満】



問7 結婚観（「そう思う」「どちらかというと思う」の合計）

【男性・年齢別】

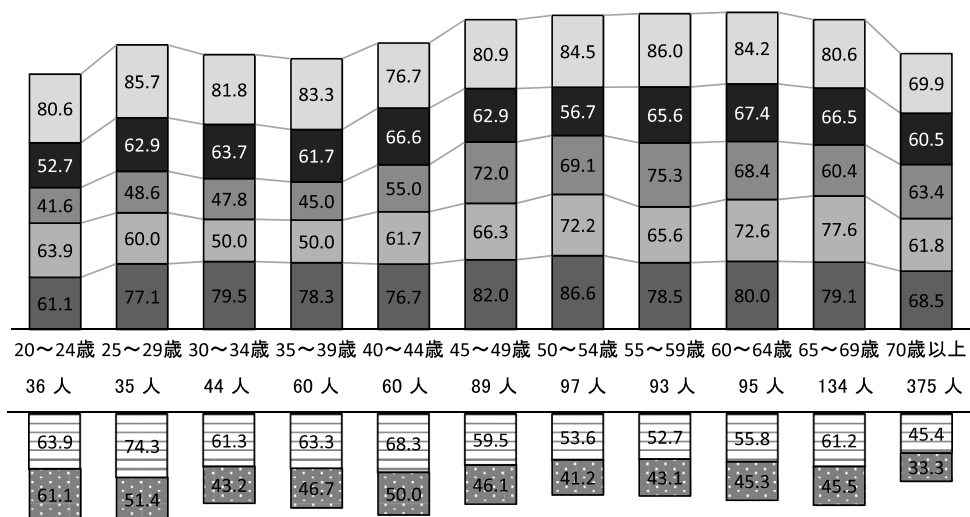
(%)



- 様々な経験が増え、自分が成長できる
- 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる
- 経済的にゆとりのある生活を送ることができる
- 結婚により社会的評価が安定する
- 家庭を持つことによりやすらぎや精神的充足が得られる
- 結婚すると自由がなくなる
- 他人と暮らす面倒さがある

【女性・年齢別】

(%)



- 様々な経験が増え、自分が成長できる
- 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる
- 経済的にゆとりのある生活を送ることができる
- 結婚により社会的評価が安定する
- 家庭を持つことによりやすらぎや精神的充足が得られる
- 結婚すると自由がなくなる
- 他人と暮らす面倒さがある

年齢別にみると、「やすらぎや精神的充足」「社会的評価」「ゆとりある生活」「日常生活が楽」「自分が成長」といったプラスの結婚観は、男女共に年齢層が高いほど割合が高くなっている。

「社会的評価」や「ゆとりのある生活」については、女性の45歳以上の年齢層ではそう“思う”割合が6～7割と高くなっているが、女性の40歳以下の年齢層では比較的低くなっており、若年層の女性は、結婚に経済的なゆとりを期待していないことがうかがえる。

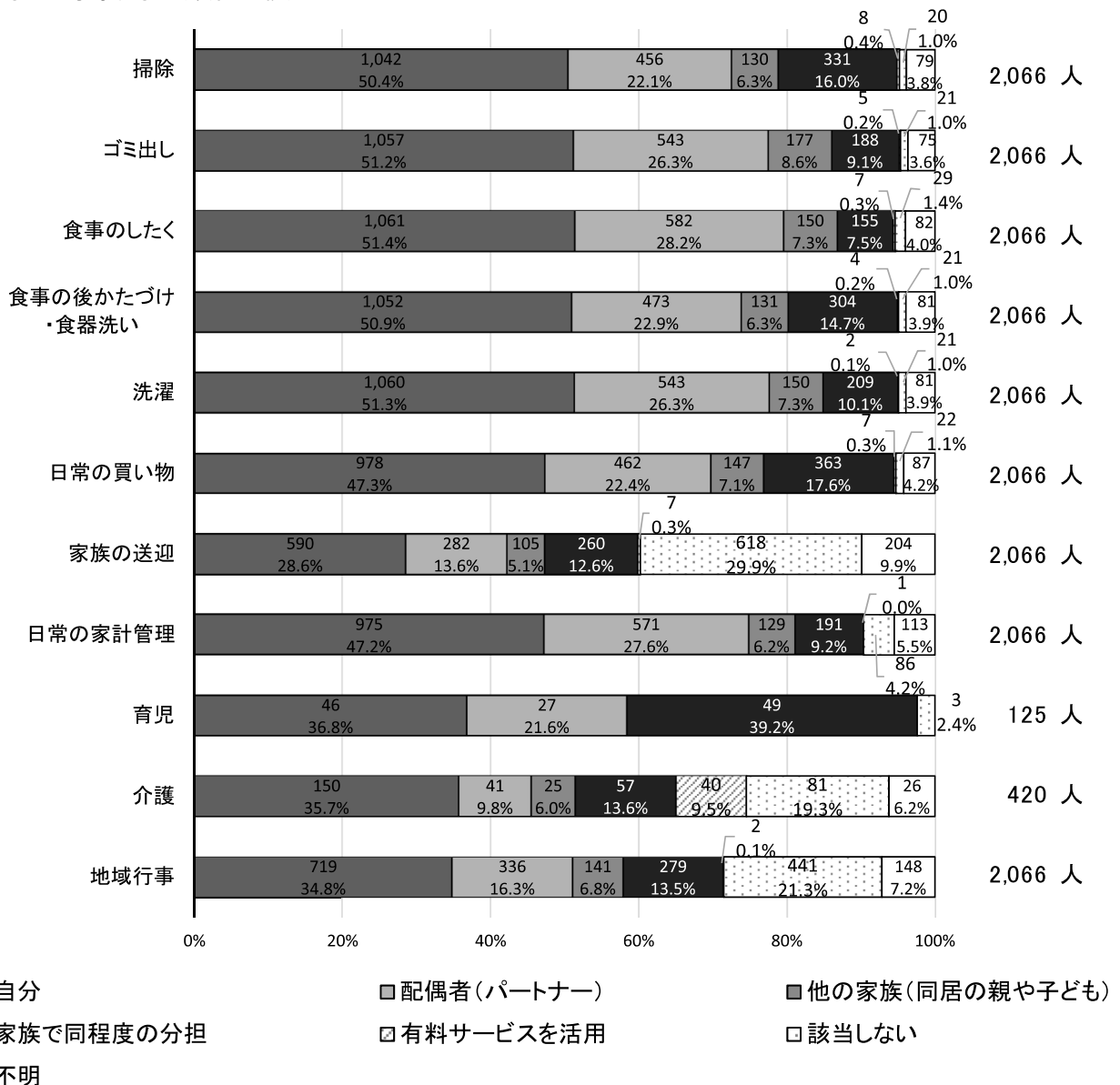
一方、「自由がなくなる」「面倒さがある」といったマイナスの結婚観は、男性の20代・30代で比較的高いものの、40代以上では年齢層が上がるにつれて低くなっている。一方、女性は、年齢層による違いはあまりみられず、どの年代でもある程度のマイナス面を感じていることがうかがえる。

## (2) 家事の分担について

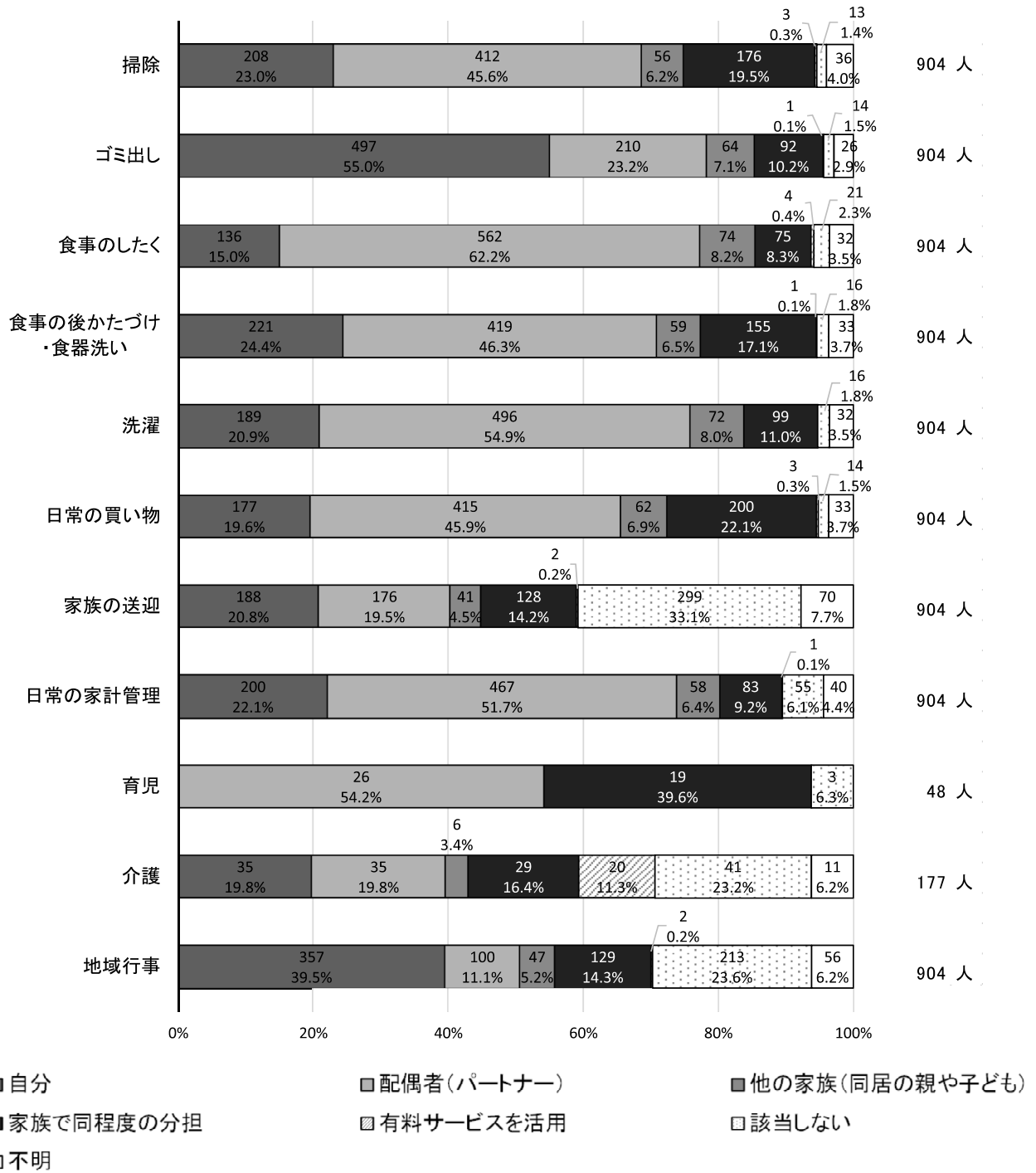
問 8 あなたの家庭で、次の家事を主に担っているのは誰ですか。(各項目1つ選択)

	自分	配偶者 (パートナー)	他の家族(同居 の親や子ども)	家族で同程度 の分担	有料サー ビス を活用	該当しない
(1)掃除	1	2	3	4	5	6
(2)ゴミ出し	1	2	3	4	5	6
(3)食事のしたく	1	2	3	4	5	6
(4)食事の後かたづけ・食器洗い	1	2	3	4	5	6
(5)洗濯	1	2	3	4	5	6
(6)日常の買い物	1	2	3	4	5	6
(7)家族の送迎	1	2	3	4	5	6
(8)日常の家計管理	1	2	3	4	5	6
(9)育児	1	2	3	4	5	6
(10)介護	1	2	3	4	5	6
(11)地域行事	1	2	3	4	5	6

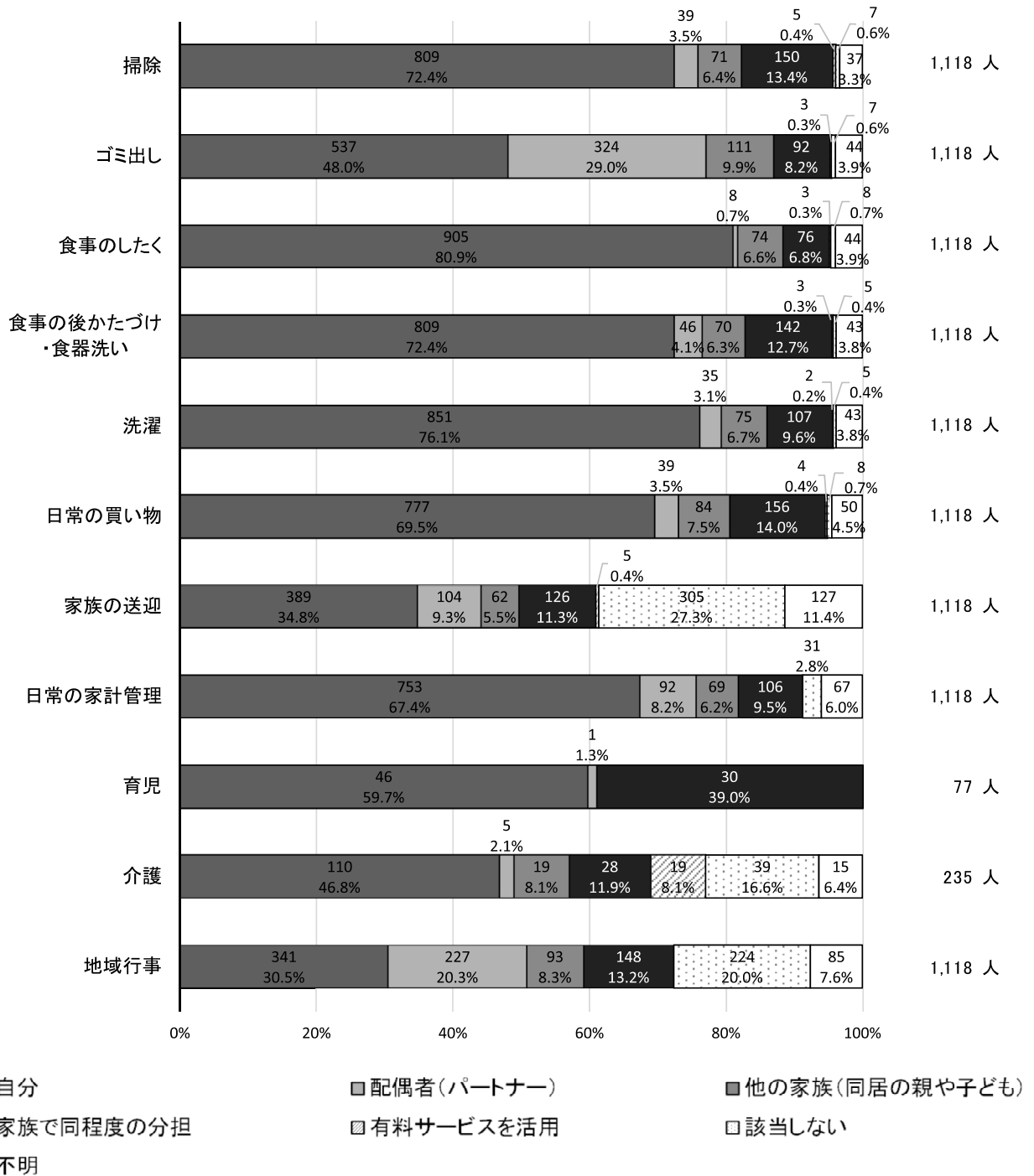
問 8 家事分担 (項目比較)



問8 家事分担（項目比較）【男性】



【女性】

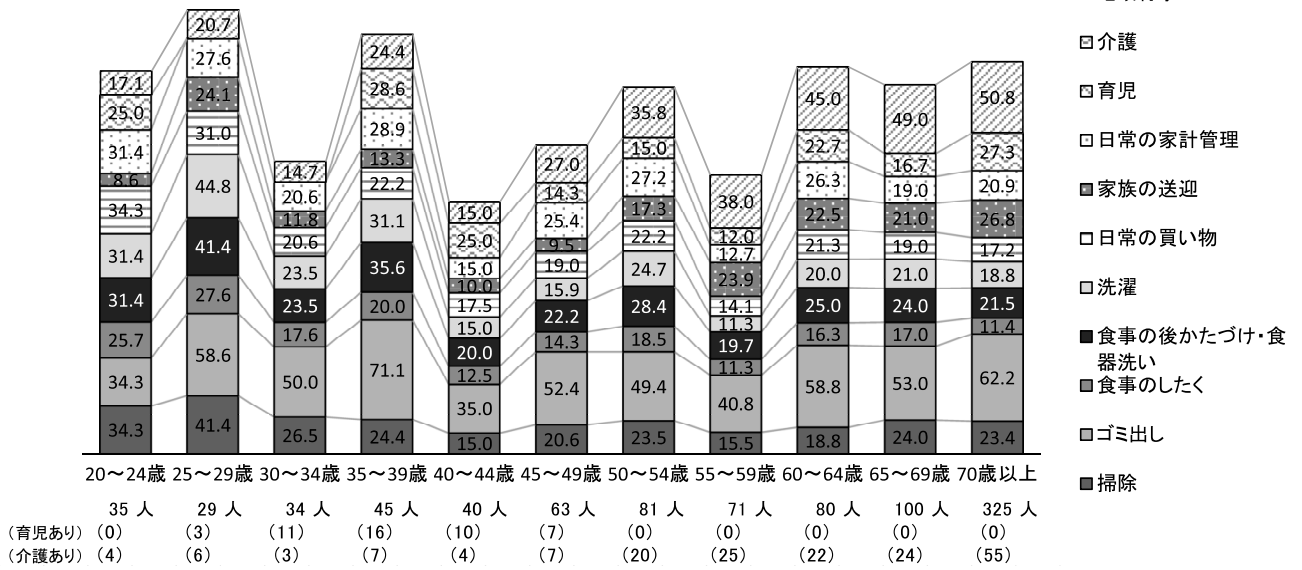


家庭での家事分担について、項目別・男女別に比較すると、男性では、掃除、食事のしたく、食事の後かたづけ・食器洗い、洗濯、日常の買い物といった家事の主たる項目について「配偶者（パートナー）」が担う割合が4.5～6割と高くなっているが、ゴミ出しについては、「自分」の割合が55.0%と高くなっている。また、育児については、他項目よりも「家族で同程度の分担」という回答が多くなっている。

一方女性では、男性とは逆に家事の主たる項目について「自分」が担う割合が7～8割と高くなっており、「配偶者（パートナー）」が担っている割合は1割未満と低くなっている。

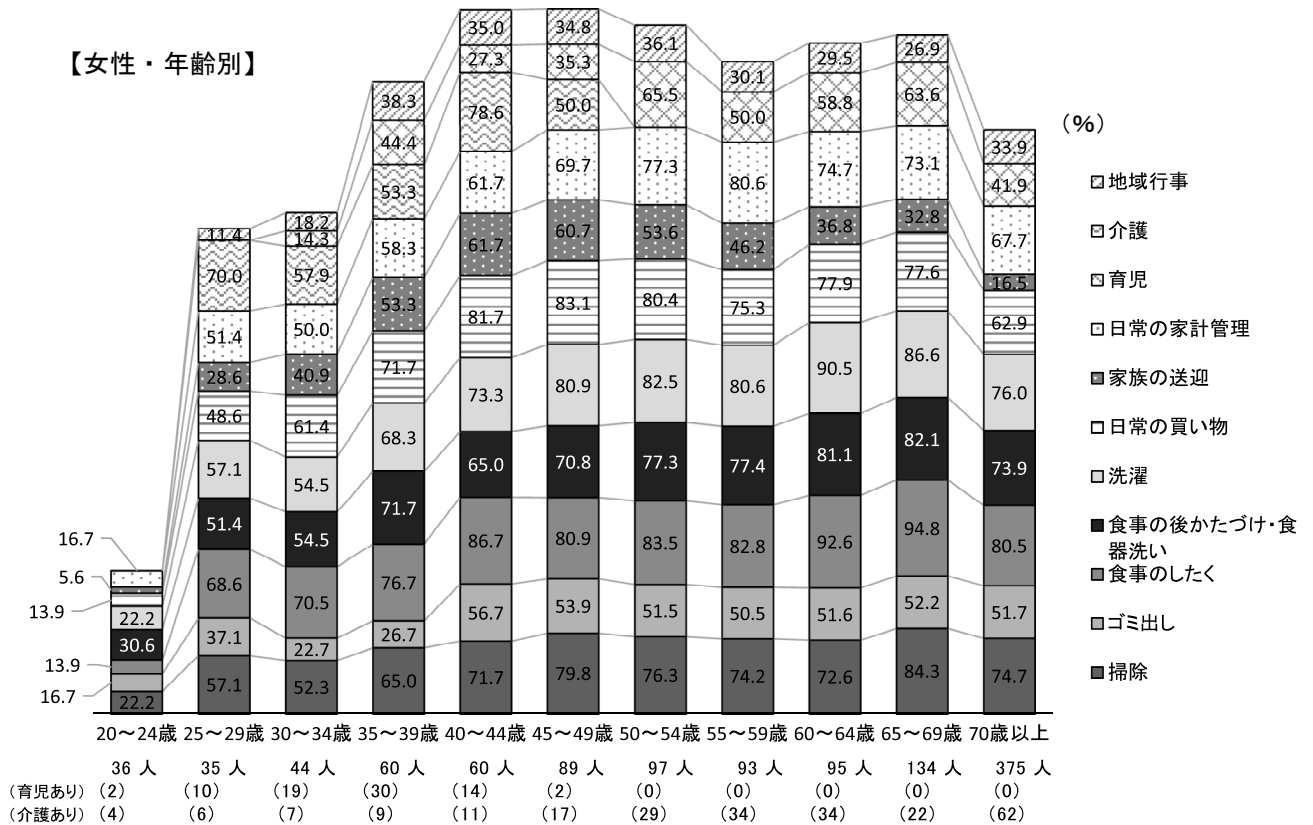
問8 家事分担（「自分」が担当）  
【男性・年齢別】

(%)



【女性・年齢別】

(%)



男女別・年齢別に「自分」が担当している割合の累積をみると、特に女性の35歳以上の年齢層で「自分」が担当していると回答している割合は高くなり、40代後半から50代前半でピークに達しており、女性の中老年層の家事負担の大きさがうかがえる。男性では、20代・30代といった若年層では「自分」が担当している割合が、他の年齢層より高くなっている。

### (3) 地域活動について

問9 あなたは、この3年間の間に、次のような地域活動に参加したことがありますか。(各項目1つ選択)

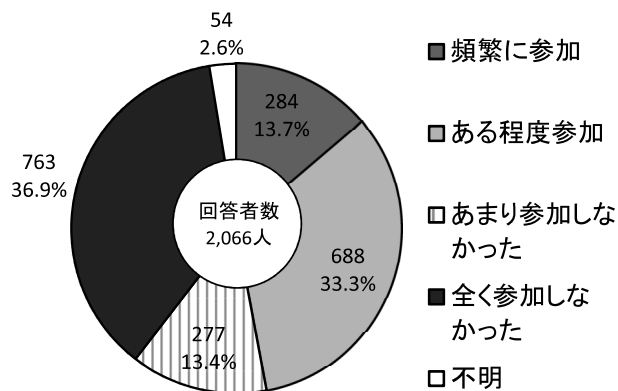
	頻繁に参加	ある程度参加	あまり参加しなかった	全く参加しなかった
(1)町内会・自治会の会合や行事	1	2	3	4
(2)コミュニティ活動	1	2	3	4
(3)子ども会やスポーツ少年団などの活動	1	2	3	4
(4)保育園や幼稚園、学校のPTA活動	1	2	3	4
(5)まちづくりなどに取組む活動	1	2	3	4
(6)ボランティア活動	1	2	3	4

#### ア 町内会・自治会の会合や行事

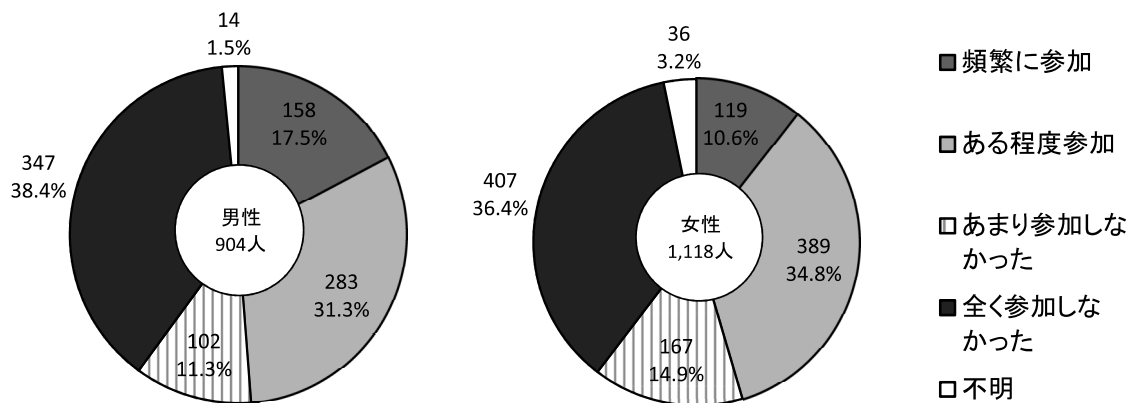
町内会・自治会の会合や行事への参加については、「頻繁に参加」が13.7%、「ある程度参加」が33.3%で、“参加”割合の合計は47.0%となっている。

一方、「あまり参加しなかった」は13.4%、「全く参加しなかった」は36.9%で、“不参加”割合の合計は50.3%はとなっている。

問9－(1) 町内会・自治会の会合や行事



問9－(1) 町内会・自治会の会合や行事【男女別】

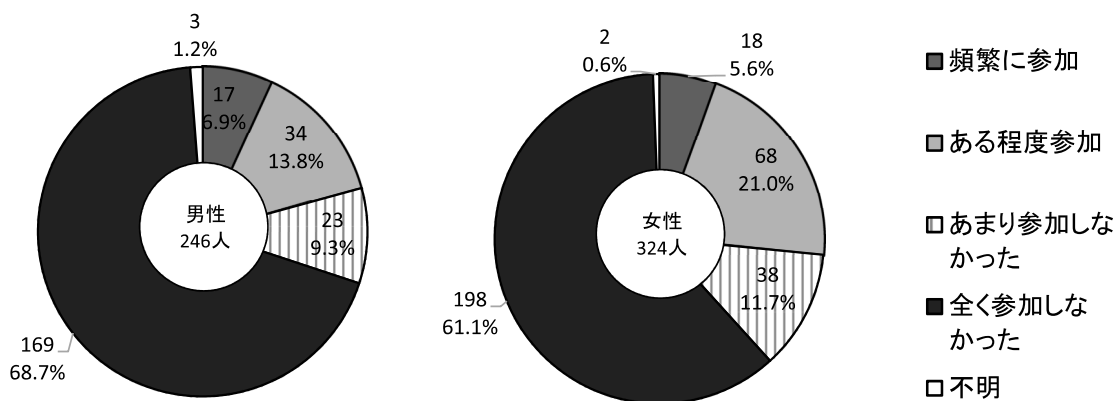


男女別にみると、町内会・自治会の会合や行事への“参加”の割合（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）は、男性48.8%、女性45.4%と、男性で3.4ポイント高くなっている。また、“不参加”の割合は、男性49.7%、女性51.3%で、男性の方が若干参加している割合が高い傾向にある。

前回調査と比較すると、“参加”の割合は男女共にあまり変化していない（男性：47.1%→48.8%、女性：44.7%→45.4%）。

50歳未満でみると、“参加”の割合は男女共に低くなり、男性20.7%、女性26.6%で、特に男性の町内会・自治会への参加率が低くなっている。

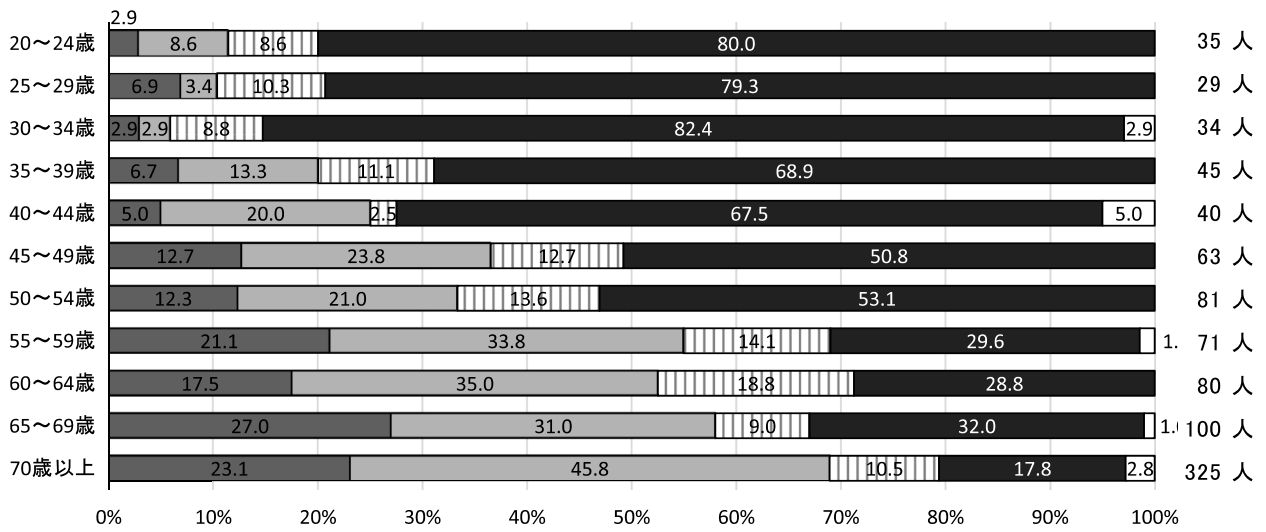
問9－(1) 町内会・自治会の会合や行事【男女別・50歳未満】



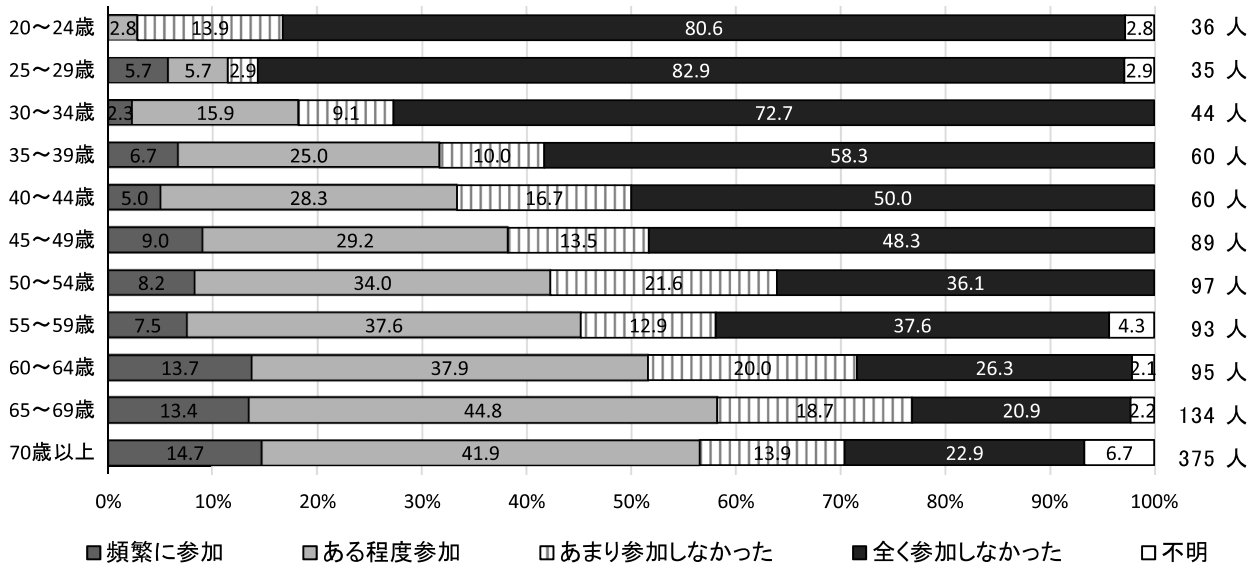


問9－(1) 町内会・自治会の会合や行事

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男女共に年齢層が高いほど、町内会・自治会への“参加”の割合が高くなっている。

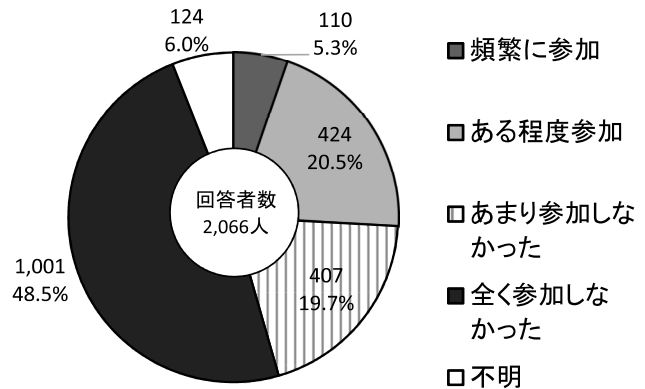
55歳未満の年齢層をみると、男性よりも女性の“参加”割合が高く、55歳以上の年齢層では男性の“参加”割合が高くなっており、男性は仕事が一段落した後、地域の活動に参加している人が多いことがうかがえる。

## イ コミュニティ活動

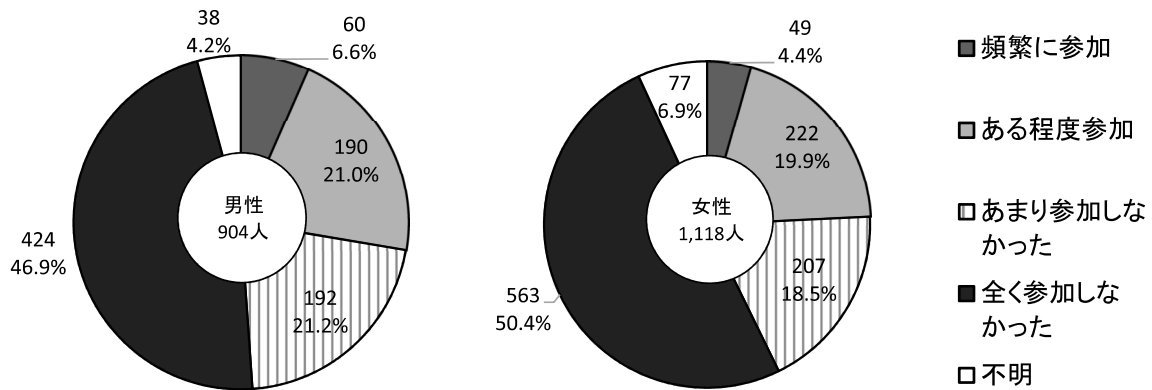
コミュニティ活動への参加については、「頻繁に参加」が5.3%、「ある程度参加」が20.5%で、“参加”割合の合計が25.8%となっている。

一方、「あまり参加しなかった」は19.7%、「全く参加しなかった」は48.5%で、“不参加”割合の合計は68.2%となっている。

問9-(2) コミュニティ活動



問9-(2) コミュニティ活動【男女別】

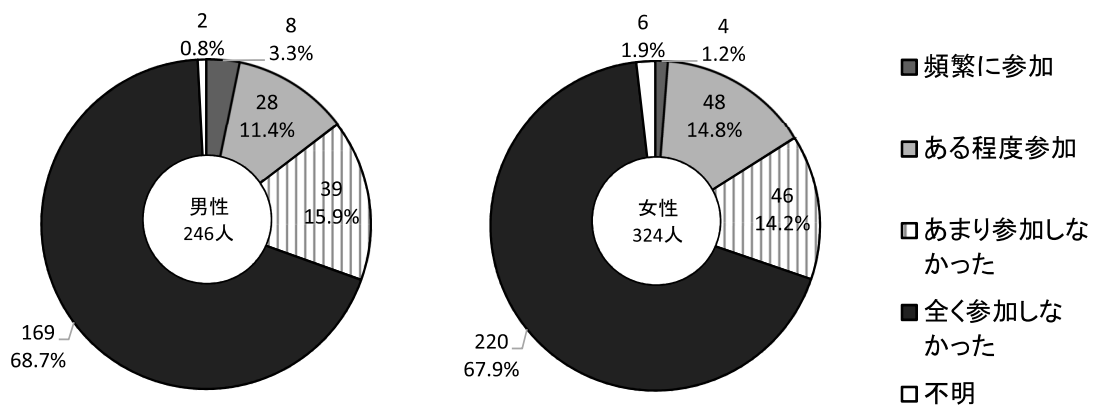


男女別にみると、コミュニティ活動への“参加”の割合（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）は、男性で27.6%、女性で24.3%と、男性の方が3.3ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、男性は4.2ポイント増（23.4%→27.6%）、女性は2.3ポイント増（22.0%→24.3%）で、男性の参加率が若干増加している。

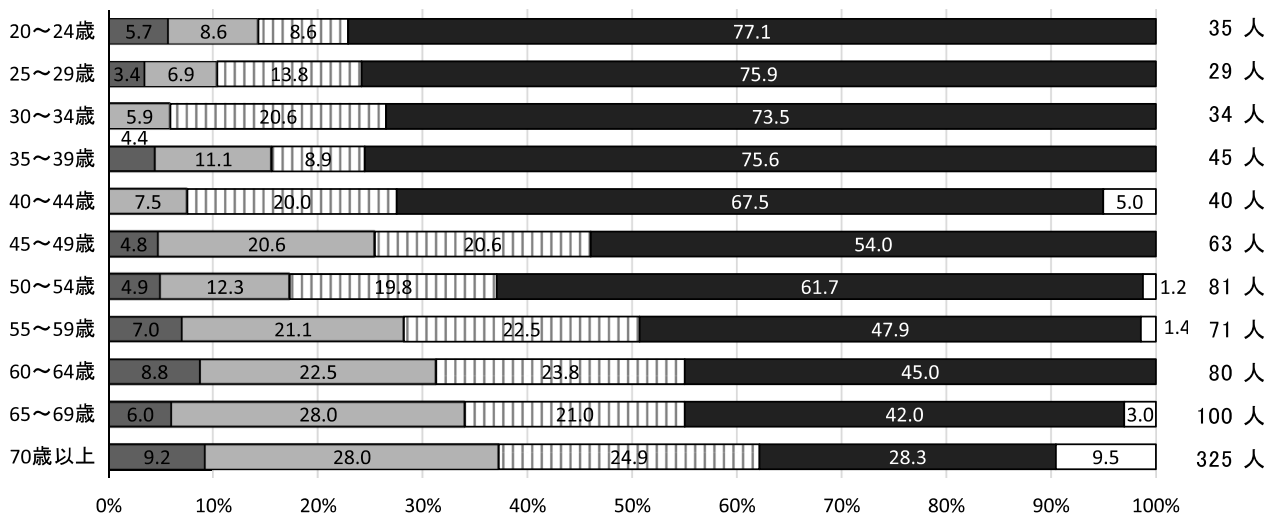
50歳未満でみると、“参加”の割合は男女共に低くなり、男性14.7%、女性16.0%で、町内会・自治会への参加と同様に、男性のコミュニティ活動への参加率が低くなっている。

問9-(2) コミュニティ活動【男女別・50歳未満】

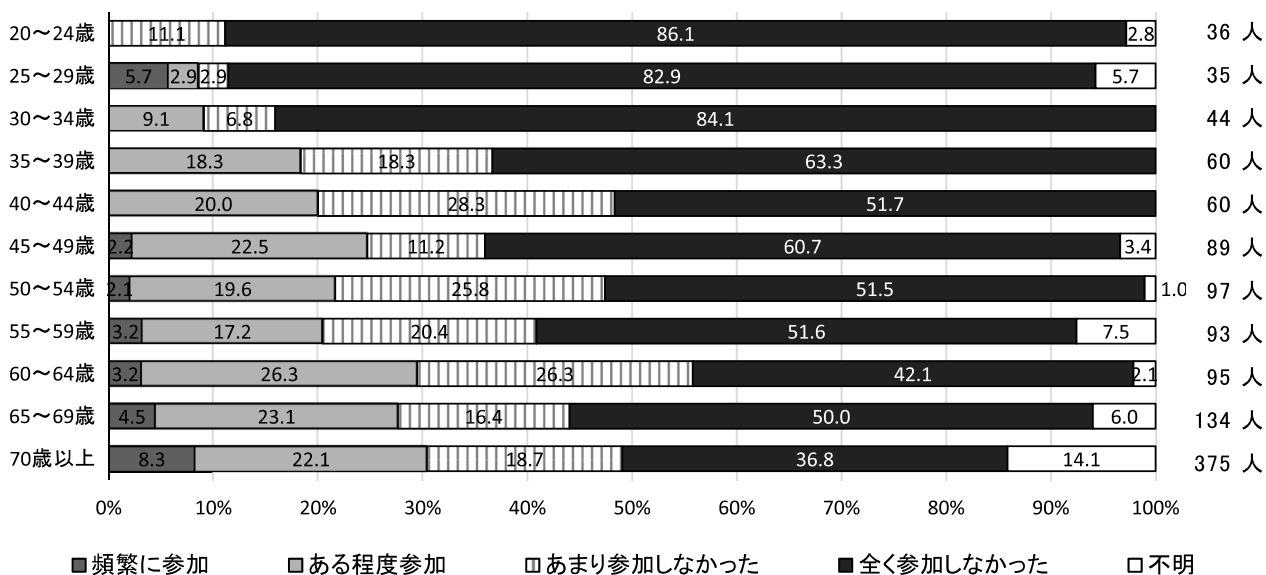


問9-(2) コミュニティ活動

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男女共に年齢層が高いほど、コミュニティ活動への“参加”の割合が高くなっている。

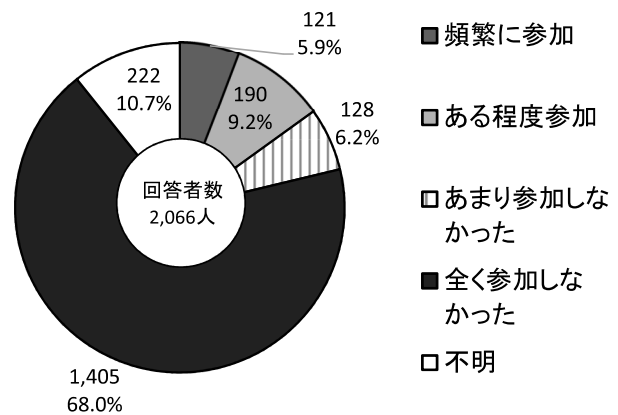
55歳未満の年齢層をみると、町内会・自治会への参加と同様に、55歳以上の年齢層では男性の“参加”割合が高くなっており、男性は仕事が一段落した後、コミュニティ活動に参加している人が多いことがうかがえる。

## ウ 子ども会やスポーツ少年団などの活動

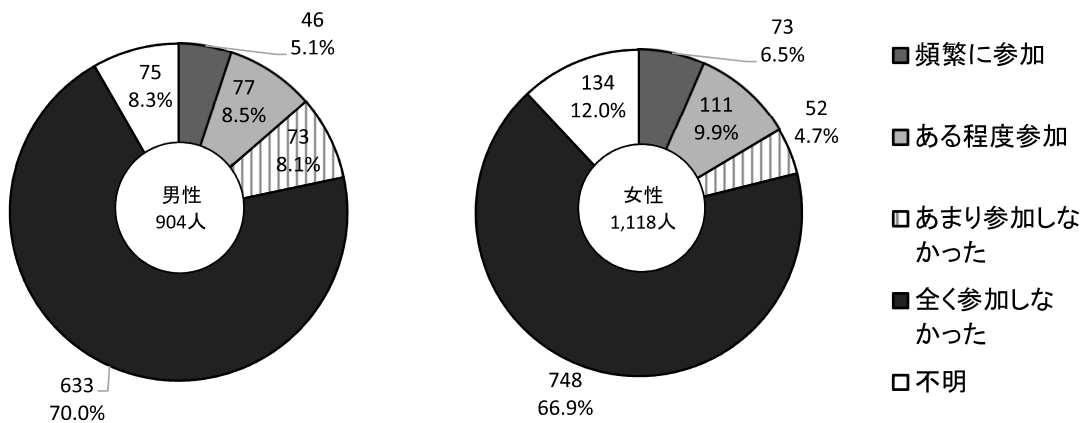
子ども会やスポーツ少年団などへの参加については、「頻繁に参加」が5.9%、「ある程度参加」が9.2%で、“参加”割合の合計は15.1%となっている。

一方、「あまり参加しなかった」は6.2%、「全く参加しなかった」は68.0%で、“不参加”割合の合計は74.2%となっている。

問9-(3) 子ども会やスポーツ少年団などの活動



問9-(3) 子ども会やスポーツ少年団などの活動【男女別】

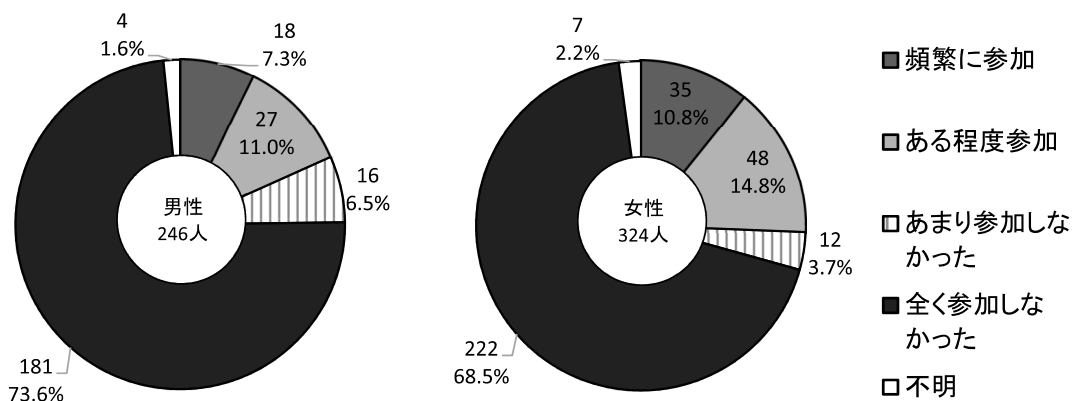


男女別にみると、子ども会やスポーツ少年団などの活動への“参加”の割合（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）は、男性で13.6%、女性で16.4%と、女性の方が2.8ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、あまり変化していない（男性：11.7%→13.6%、女性：17.4%→16.4%）が、男性の参加率がわずかに増加している。

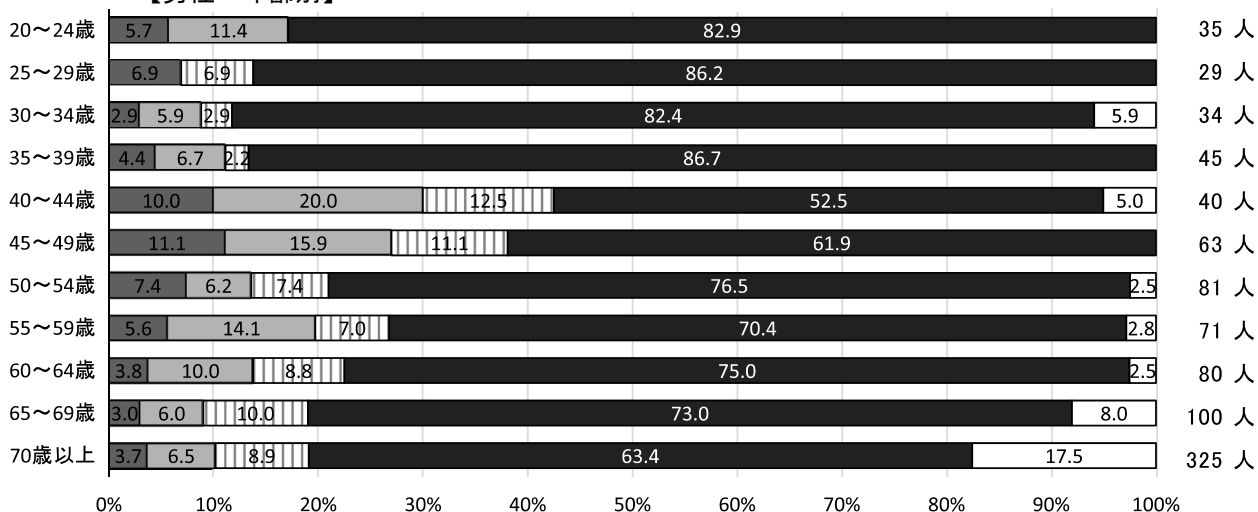
50歳未満でみると、“参加”の割合は男女共に高くなり、男性18.3%、女性25.6%で、子育てを担う割合が高い女性の参加率が高くなっている。

問9-(3) 子ども会やスポーツ少年団などの活動【男女別・50歳未満】

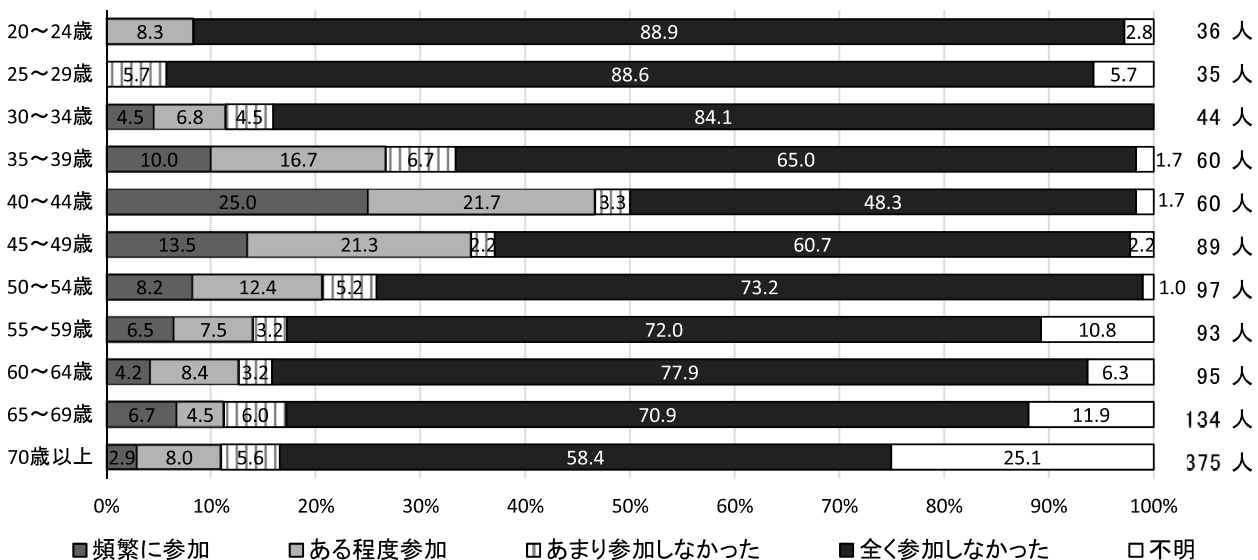


問9－(3) 子ども会やスポーツ少年団などの活動

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性では40代及び50代後半、女性では30代後半から50代前半の“参加”の割合が高く、概ねその年代に集中している。

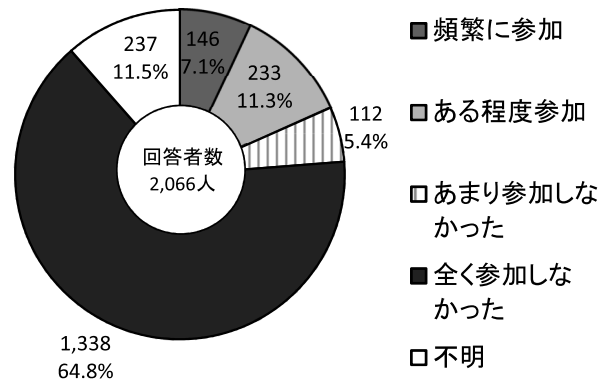
また、その年代では男性よりも女性の“参加”割合が高くなっており、子ども会やスポーツ少年団などの活動は女性の貢献度が大きいと考えられる。

## エ 保育園や幼稚園、学校のPTA活動

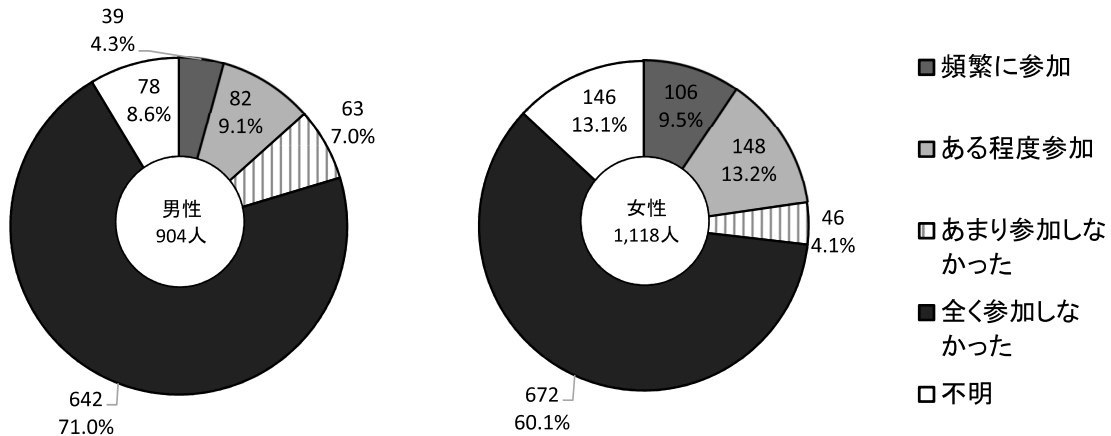
保育園や幼稚園、学校のPTA活動への参加については、「頻繁に参加」が7.1%、「ある程度参加」が11.3%で、“参加”割合の合計は18.4%となっている。

一方、「あまり参加しなかった」は5.4%、「全く参加しなかった」は64.8%で、“不参加”割合の合計は70.2%となっている。

問9-(4) 保育園や幼稚園、学校のPTA活動



問9-(4) 保育園や幼稚園、学校のPTA活動【男女別】

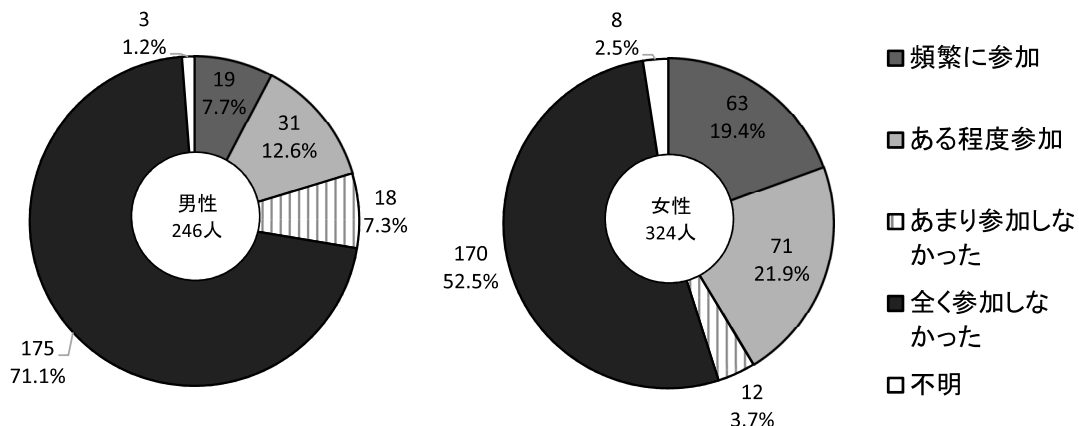


男女別にみると、保育園や幼稚園、学校のPTA活動への“参加”の割合（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）は、男性で13.4%、女性で22.7%と、女性の方が9.3ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、男性は2.8ポイント増（10.6%→13.4%）、女性は2.0ポイント減（24.7%→22.7%）で、男性の参加率がわずかに増加している。

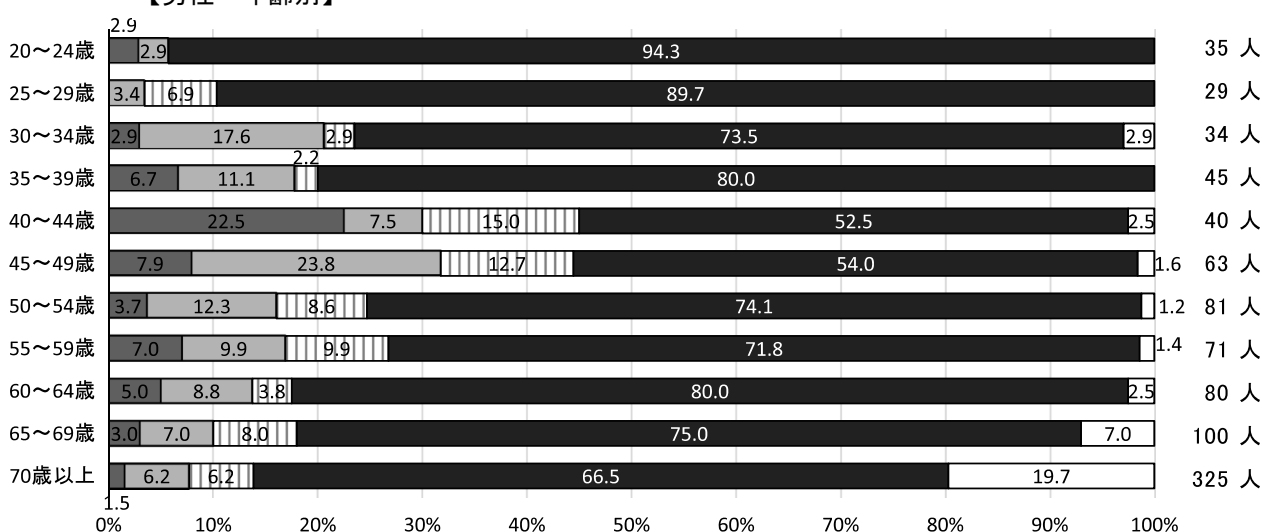
50歳未満でみると、“参加”の割合は男女共に高くなり、男性20.3%、女性41.3%で、子育てを担う割合が高い女性の参加率は、男性の倍以上となっている。

問9-(4) 保育園や幼稚園、学校のPTA活動【男女別・50歳未満】

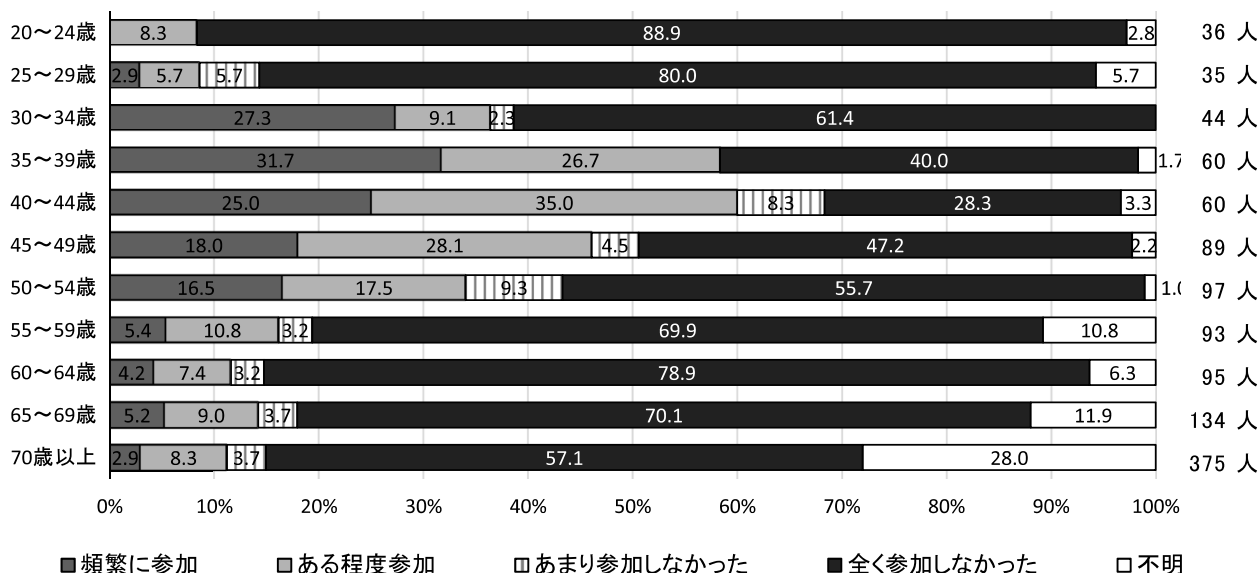


問9－(4) 保育園や幼稚園、学校のPTA活動

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性では30代・40代、女性では30代から50代前半の“参加”の割合が高く、概ねその年代に集中している。

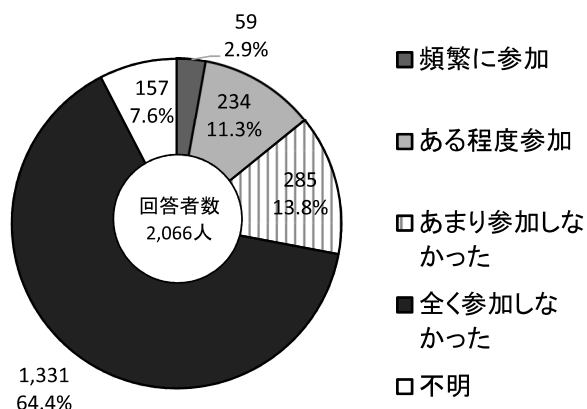
また、その年代では女性の“参加”割合が男性の倍近くとなっており、PTA活動の多くは主に女性を中心となっていると考えられる。

## オ まちづくりなどに取組む活動

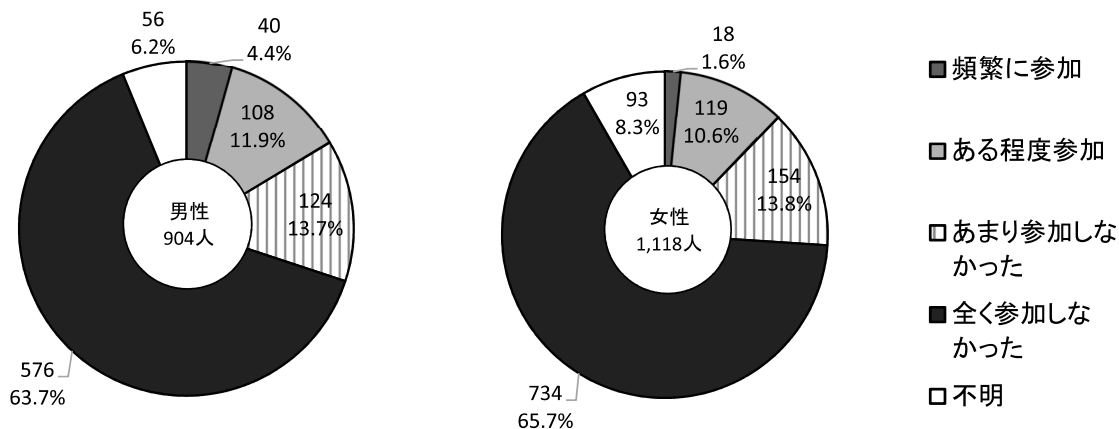
まちづくりなどに取組む活動への参加については、「頻繁に参加」が2.9%、「ある程度参加」が11.3%で、“参加”割合の合計は14.2%で低い割合となっている。

一方、「あまり参加しなかった」は13.8%、「全く参加しなかった」は64.4%で、“不参加”割合の合計は78.2%となっている。

問9-(5) まちづくりなどに取組む活動



問9-(5) まちづくりなどに取組む活動【男女別】

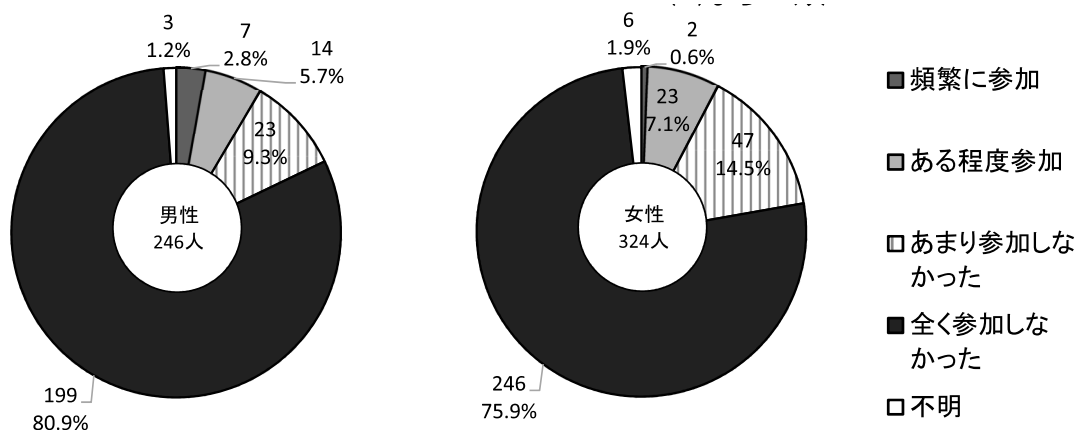


男女別にみると、まちづくりなどに取組む活動への“参加”の割合（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）は、男性で16.3%、女性で12.2%と、男性の方が4.1ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、男性は2.7ポイント増（13.6%→16.3%）、女性は3.1ポイント増（9.1%→12.2%）で、男女共に若干増加しているものの、相変わらず低い割合となっている。

50歳未満でみると、“参加”の割合は男女共にさらに低くなり、男性8.5%、女性7.7%で、どちらも1割を切っており、まちづくり活動などへの若年層の参加が進んでいない実態がうかがえる。

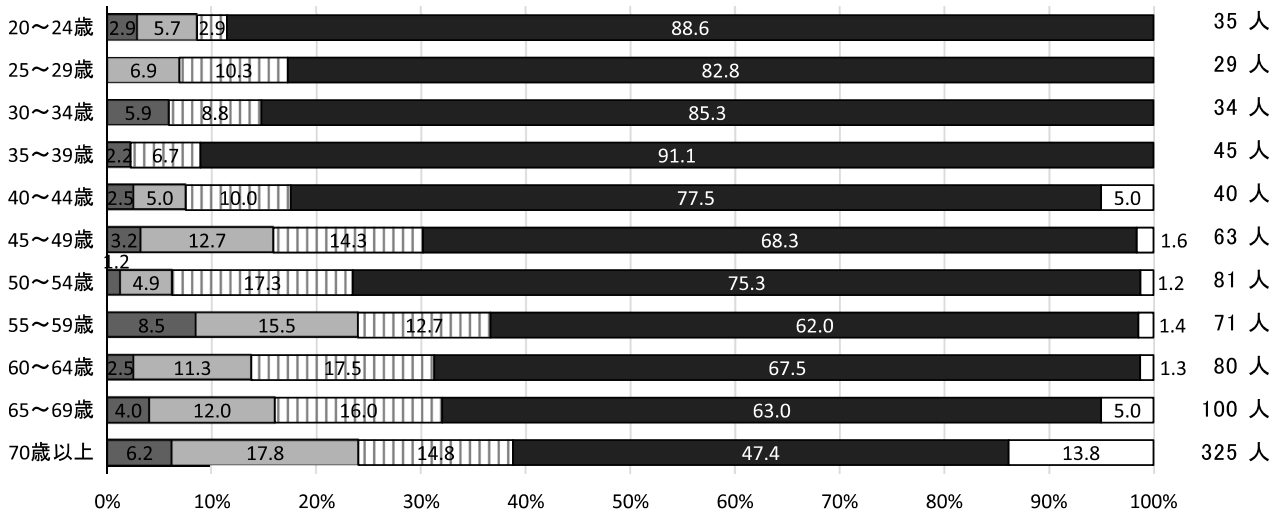
問9-(5) まちづくりなどに取組む活動【男女別・50歳未満】



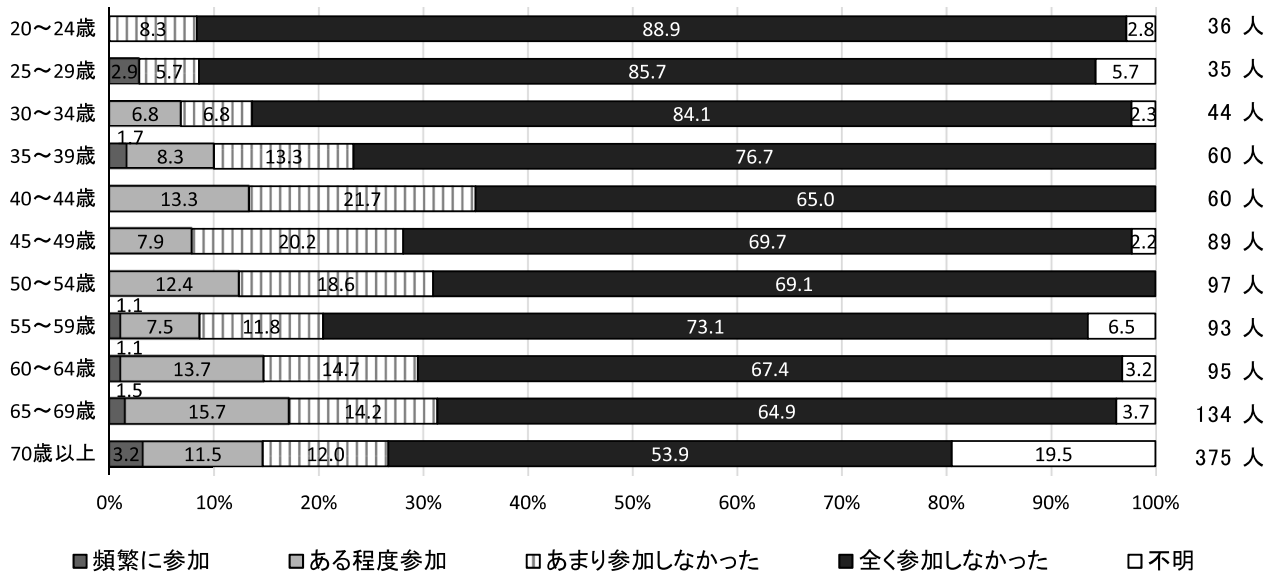


問9－（5） まちづくりなどに取組む活動

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、全体的に“参加”の割合が低い中で、男性の40代後半、50代後半以上の年齢層での“参加”割合が比較的高くなっている。

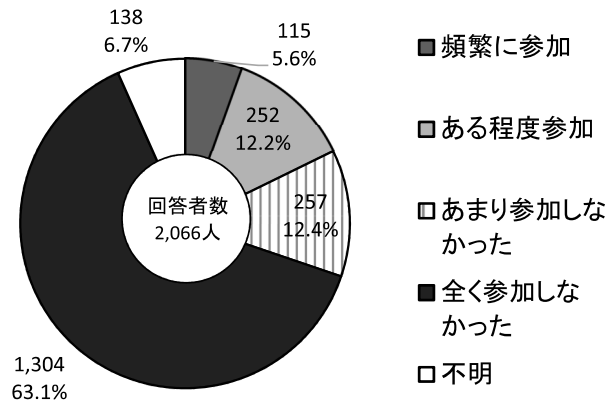
また、女性では60代の“参加”割合が比較的高くなっており、若年層のまちづくりへの参加をどう取り込んでいくかが課題と考えられる。

## カ ボランティア活動

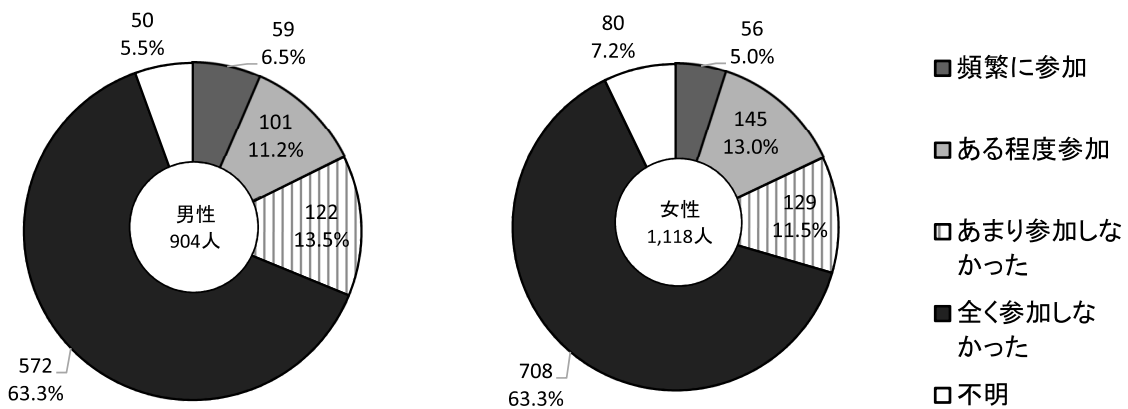
ボランティア活動への参加については、「頻繁に参加」が5.6%、「ある程度参加」が12.2%で、“参加”割合の合計は17.8%となっている。

一方、「あまり参加しなかった」は12.4%、「全く参加しなかった」は63.1%で、“不参加”割合の合計は75.5%となっている。

問9-(6) ボランティア活動



問9-(6) ボランティア活動【男女別】

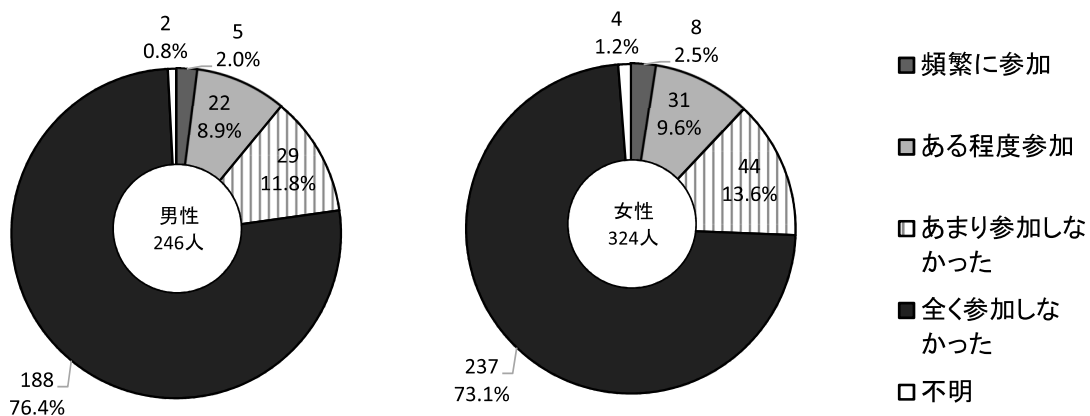


男女別にみると、ボランティア活動への“参加”の割合（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）は、男性で17.7%、女性で18.0%と、ほぼ同じ割合となっている。

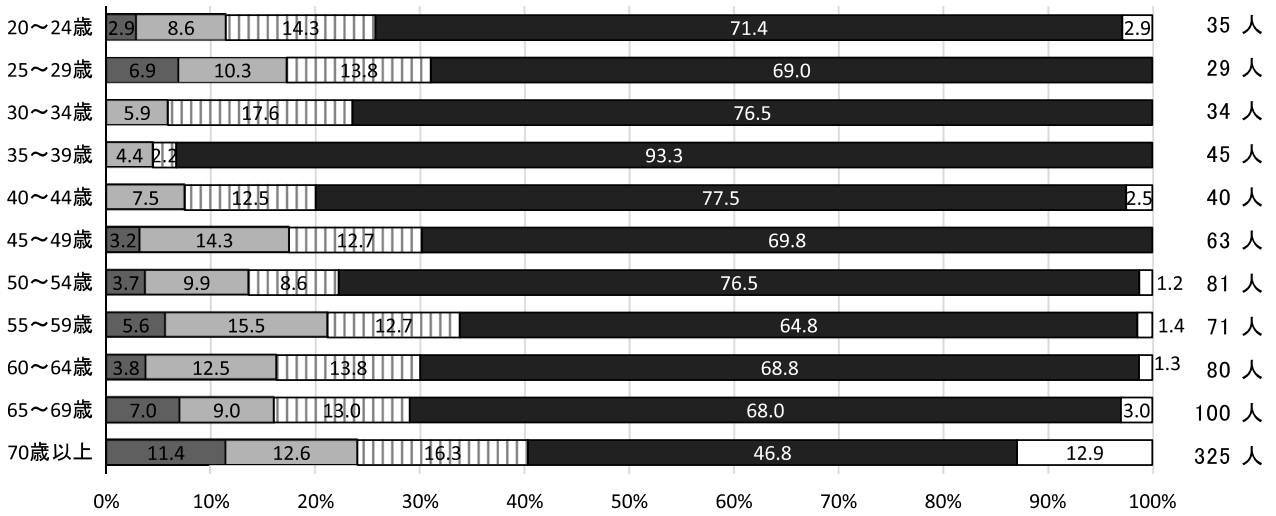
前回調査と比較すると、男性はほぼ変わらず（17.6%→17.7%）、女性は3.6ポイント増（14.4%→18.0%）で、女性の方が若干増加している。

50歳未満でみると、“参加”の割合は男女共に低くなり、男性10.9%、女性12.1%で、まちづくり活動と同様に、若年層の参加が進んでいない実態がうかがえる。

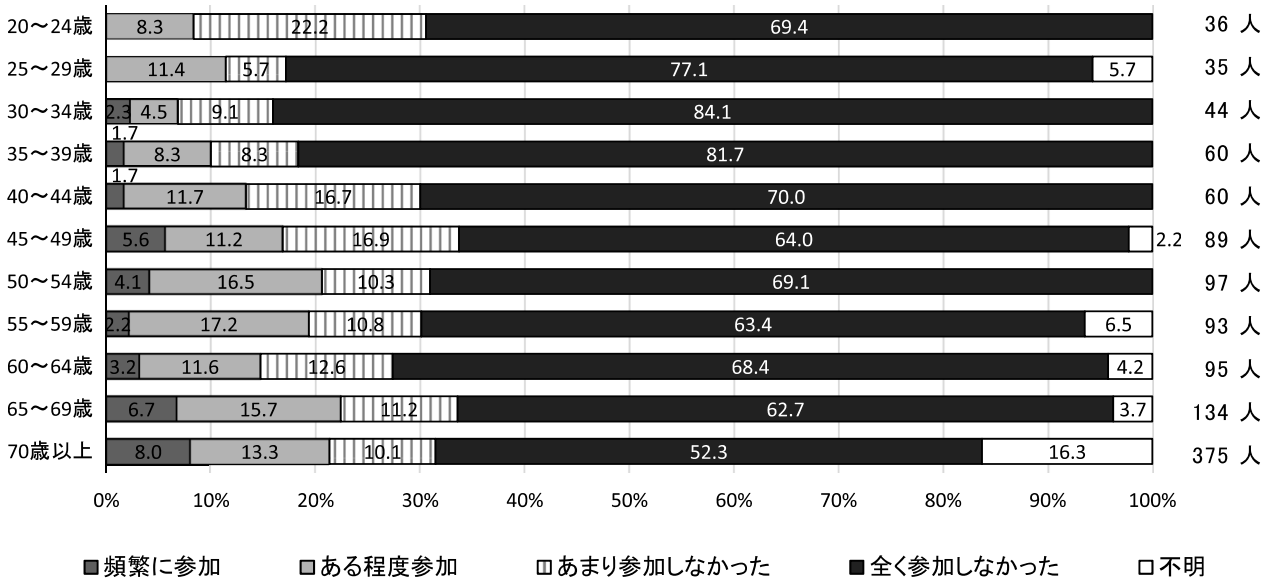
問9-(6) ボランティア活動【男女別・50歳未満】



問9-(6) ボランティア活動  
【男性・年齢別】



【女性・年齢別】

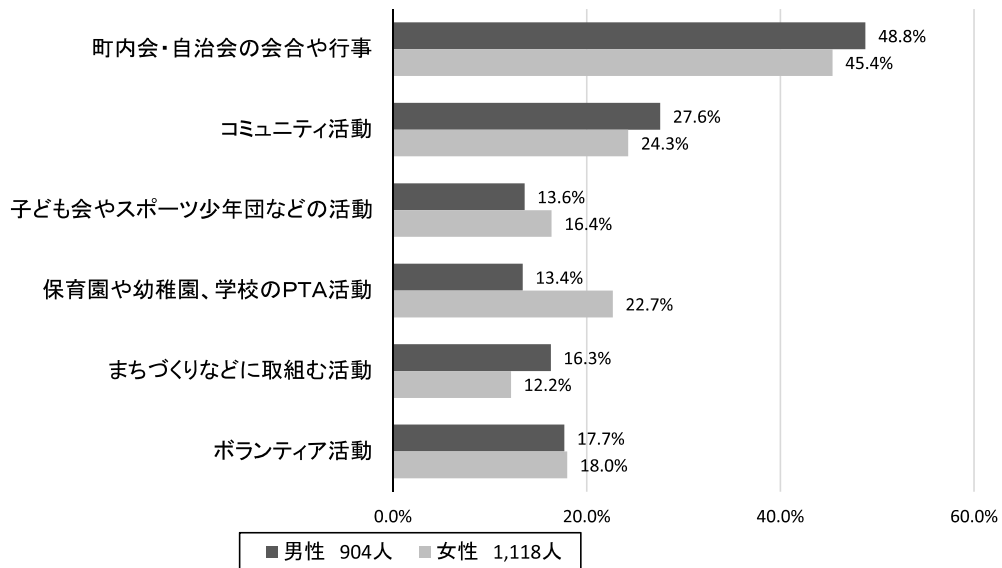


男女別・年齢別にみると、全体的に“参加”の割合が低い中で、男性の40代後半以上、女性の40代以上の年齢層で“参加”割合が比較的高くなっている。

一方で、男性の30代から40代前半、女性の20代・30代の年齢層では、“参加”の割合が低くなっており、仕事や子育て等が中心となる若い世代は、ボランティア活動に参加しにくいことがうかがえる。

## キ 地域活動の参加率（項目比較）

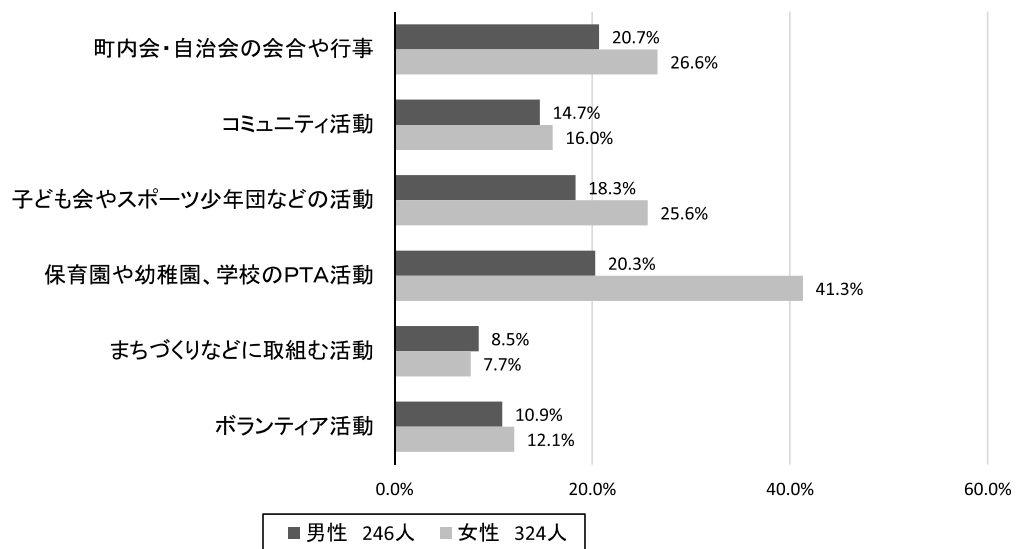
問9 地域活動の“参加”（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）割合【男女別】



この3年間の地域活動への“参加”の割合（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）を男女別にみると、参加率は男女共に「町内会・自治会の会合や行事」が最も高く、次いで、「コミュニティ活動」となっている。第3位となる項目は、男性が「ボランティア活動」、女性では「保育園や幼稚園、学校のPTA活動」で、男女で違いが見られる。

50歳未満でみると、男女で大きな違いがあり、女性では「保育園や幼稚園、学校のPTA活動」が4割と最も多く、次いで「町内会・自治会の会合や行事」「子ども会やスポーツ少年団などの活動」といった子どもに係る活動の参加率が高くなっている。男性では「町内会・自治会の会合や行事」「保育園や幼稚園、学校のPTA活動」の参加率が比較的高いが、女性よりも低い割合となっている。

問9 地域活動の“参加”（「頻繁に参加」「ある程度参加」の合計）割合【男女別・50歳未満】



【※問9ですべてに「あまり参加しなかった」または「全く参加しなかった」と回答した方】

問9-1 参加しないのはどのような理由ですか。(すべて選択)

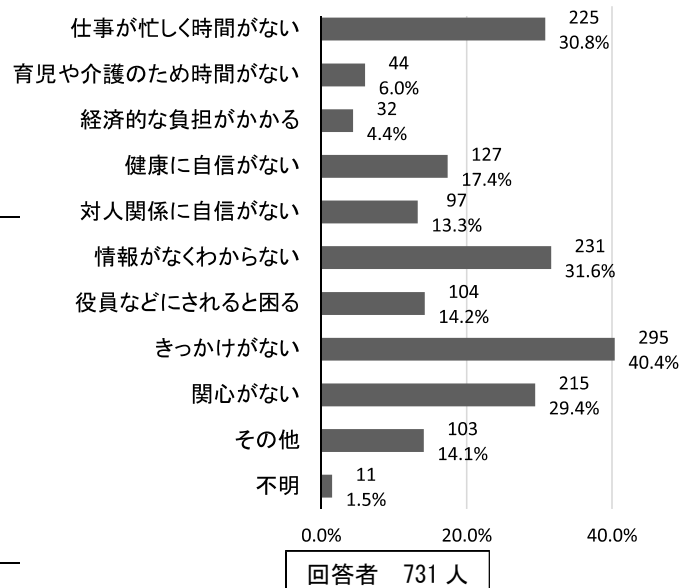
- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 仕事が忙しく時間がない | 2 育児や介護のため時間がない |
| 3 経済的な負担がかかる  | 4 健康に自信がない      |
| 5 対人関係に自信がない  | 6 情報がなくわからない    |
| 7 役員などにされると困る | 8 きっかけがない       |
| 9 関心がない       | 10 その他 ( )      |

地域活動に参加しない理由については、「きっかけがない」が40.4%で最も多く、次いで「情報がなくわからない」が31.6%、「仕事が忙しく時間がない」が30.8%、「関心がない」が29.4%となっている。

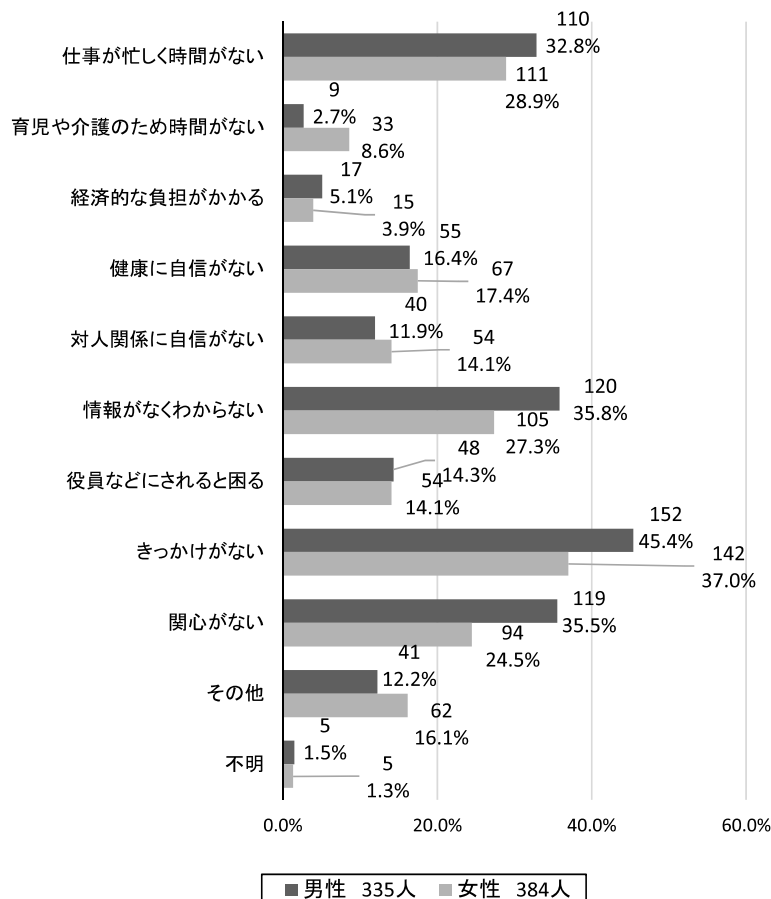
■その他の回答(抜粋)

- ・年齢的に
- ・面倒くさい
- ・町内会など入っていない
- ・子どもが大きい
- ・家(日立市内)にいる時間があまりないため
- ・妻が全てやっている
- ・自治会の役員に該当しなかったため
- ・夫に任せている
- ・アパートなので、町内会に参加していない など

問9-1 参加しない理由

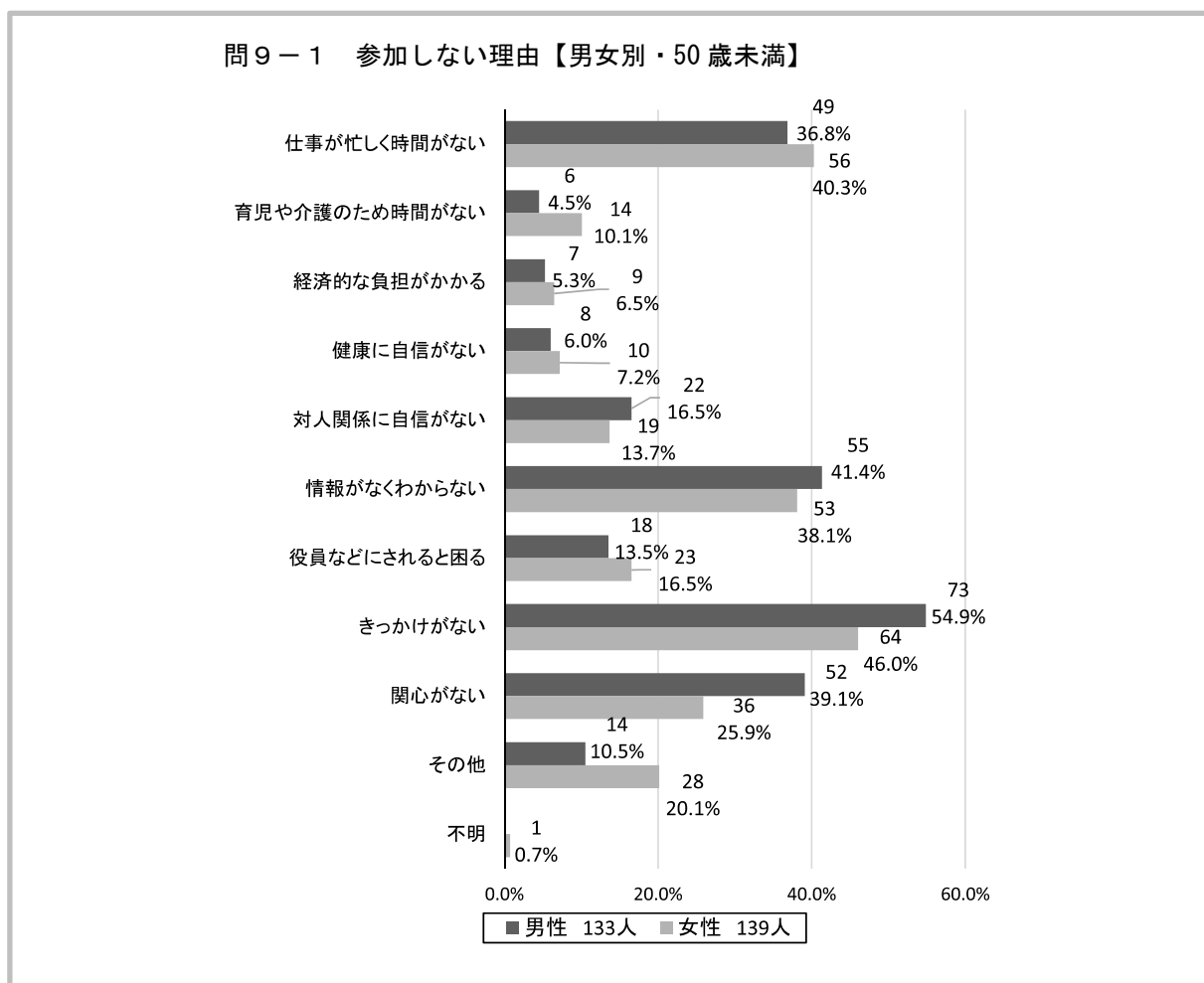


問9-1 参加しない理由【男女別】



男女別にみると、参加しない理由については、男女共に「きっかけがない」が最も割合が高くなっている。次いで、男性では「情報がなくわからない」「関心がない」の割合が高く、女性では「仕事が忙しく時間がない」「情報がなくわからない」が高くなっている。

50歳未満でみると、男女共に「きっかけがない」が最も高く、男性では半数を超えている。また、男性では「情報がなくわからない」「関心がない」の他に「仕事が忙しく時間がない」の割合が高くなっている。地域活動への若年層の参加を促すには、きっかけづくりや情報の提供、特に男性は関心を高めることが重要であることがうかがえる。



問9-1 参加しない理由

【男性・年齢別】

(上段：回答数、下段：割合)

	1位		2位		3位		
20～24歳	情報がなくわからない=きっかけがない		12 50		関心がない 7 29.2		
25～29歳	きっかけがない	16 80	仕事が忙しく時間がない		9 45	情報がなくわからない=関心がない 8 40	
30～34歳	情報がなくわからない		13 56.5		12 52.2		関心がない 11 47.8
35～39歳	きっかけがない		15 55.6		11 40.7		仕事が忙しく時間がない=情報がなくわからない 9 33.3
40～44歳	仕事が忙しく時間がない		8 47.1		7 41.2		関心がない 5 29.4
45～49歳	仕事が忙しく時間がない		12 54.5		11 50		関心がない 10 45.5
50～54歳	きっかけがない		25 55.6		22 48.9		情報がなくわからない 21 46.7
55～59歳	仕事が忙しく時間がない		16 61.5		13 50		情報がなくわからない 12 46.2
60～64歳	情報がなくわからない		14 51.9		13 48.1		仕事が忙しく時間がない=関心がない 8 29.6
65～69歳	関心がない		16 44.4		14 38.9		情報がなくわからない 10 27.8
70歳以上	健康に自信がない		33 49.3				きっかけがない=関心がない 13 19.4

【女性・年齢別】

(上段：回答数、下段：割合)

	1位		2位		3位		
20～24歳	きっかけがない		11 39.3		10 35.7		関心がない 8 28.6
25～29歳	きっかけがない		14 60.9		13 56.5		仕事が忙しく時間がない 11 47.8
30～34歳	仕事が忙しく時間がない		15 57.7		13 50		情報がなくわからない 10 38.5
35～39歳	情報がなくわからない		6 37.5		5 31.3		仕事が忙しく時間がない 4 25
40～44歳	きっかけがない		10 62.5		7 43.8		仕事が忙しく時間がない 6 37.5
45～49歳	きっかけがない		14 46.7		13 43.3		情報がなくわからない=関心がない 7 23.3
50～54歳	仕事が忙しく時間がない		14 37.8		13 35.1		役員などにされると困る=関心がない 7 18.9
55～59歳	きっかけがない		14 40		12 34.3		情報がなくわからない 11 31.4
60～64歳	きっかけがない		16 44.4		13 36.1		情報がなくわからない 10 27.8
65～69歳	きっかけがない		13 32.5		12 30		健康に自信がない=情報がなくわからない 9 22.5
70歳以上	健康に自信がない		40 41.2				きっかけがない=関心がない 22 22.7

男女別・年齢別にみると、男性では、働き盛りの40代や50代後半で「仕事が忙しく時間がない」が最も高くなっているが、20代・30代の若い世代では「情報がなくわからない」や「きっかけがない」が高くなっている。

女性では、どの年代でも「きっかけがない」の割合が高くなっており、女性の地域参加の促進にはきっかけづくりが重要であることがうかがえる。

#### (4) 家庭生活や地域生活の悩みや不安について

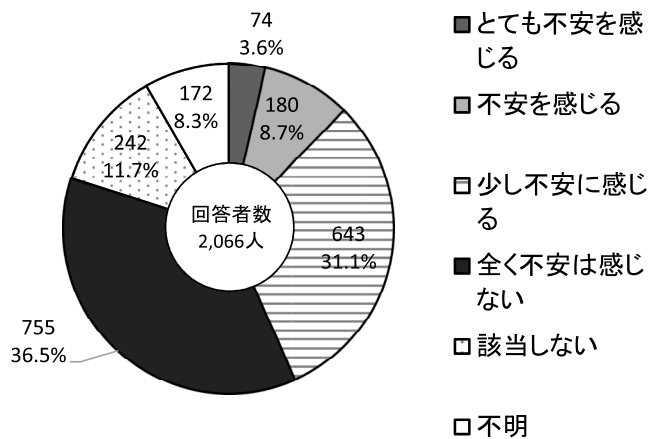
問 10 あなたは、家庭生活や地域生活について悩みや不安を感じていますか。(各項目 1つ選択)

	とても不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	全く不安は感じない	該当しない
(1) 夫婦や家族の関係	1	2	3	4	5
(2) 心身の健康	1	2	3	4	
(3) 自分自身や家族の介護	1	2	3	4	
(4) 経済的な問題	1	2	3	4	
(5) ご近所や地域との付き合い	1	2	3	4	
(6) 仕事と生活(家庭生活や地域活動・個人の生活)の両立	1	2	3	4	5
(7) 自分の将来に関する問題	1	2	3	4	

#### ア 夫婦や家族の関係

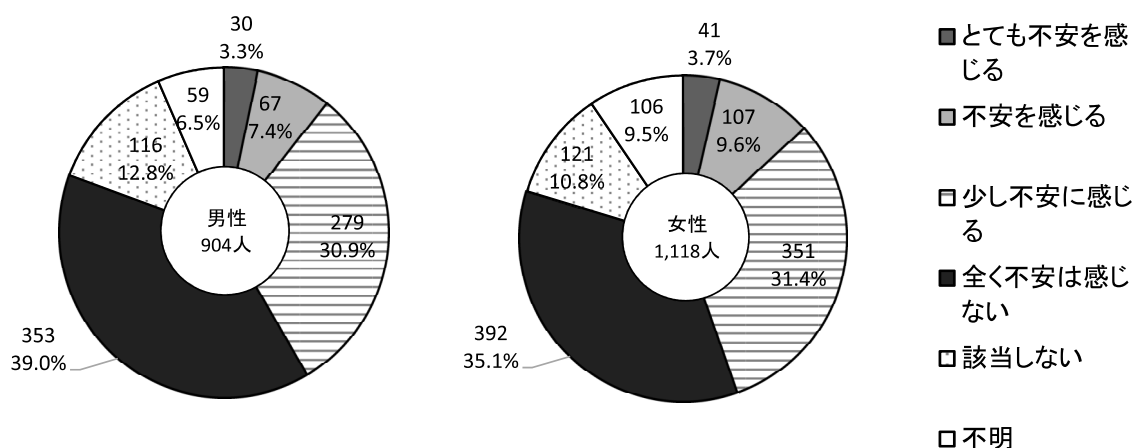
夫婦や家族の関係について、悩みや不安をみると、「とても不安を感じる」が 3.6%、「不安を感じる」が 8.7%、「少し不安を感じる」が 31.1%で、“不安がある”割合の合計は 43.4%となっている。

問 10- (1) 夫婦や家族の関係



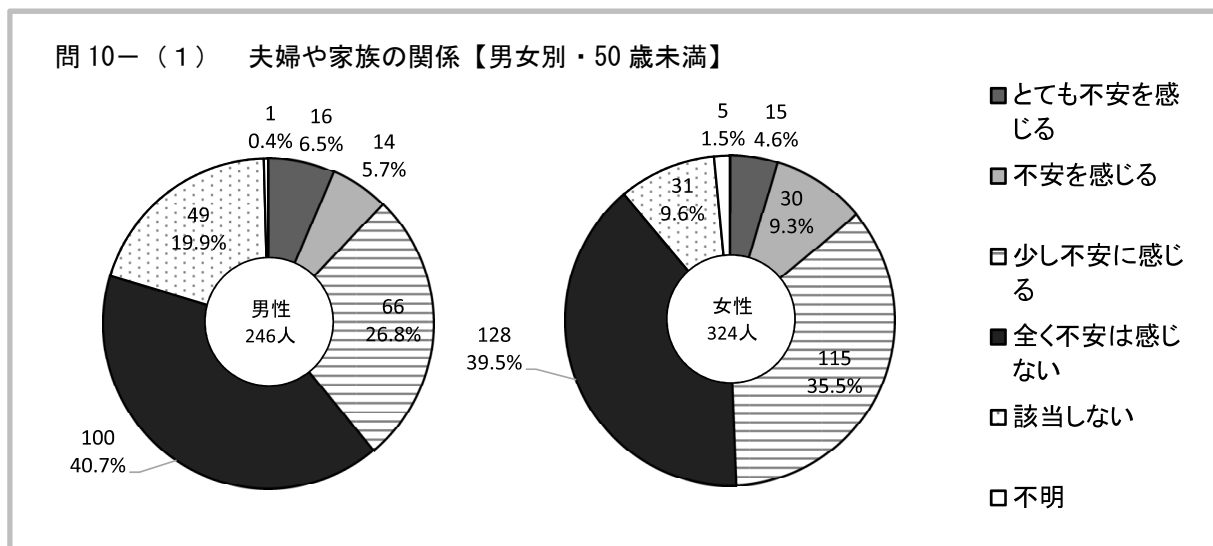


問 10－（1） 夫婦や家族の関係【男女別】



男女別にみると、夫婦や家族の関係について“不安がある”割合の合計は、男性が41.6%、女性が44.7%と、女性の方が不安を感じている割合が若干高くなっている。

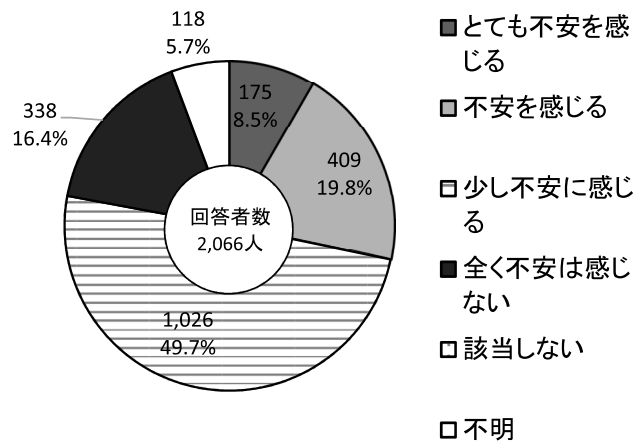
50歳未満でみると、“不安がある”割合の合計は男性39.0%、女性49.4%で、女性の方が10.4ポイント高く、比較的若い年代の女性は全体よりも不安を感じている傾向にある。



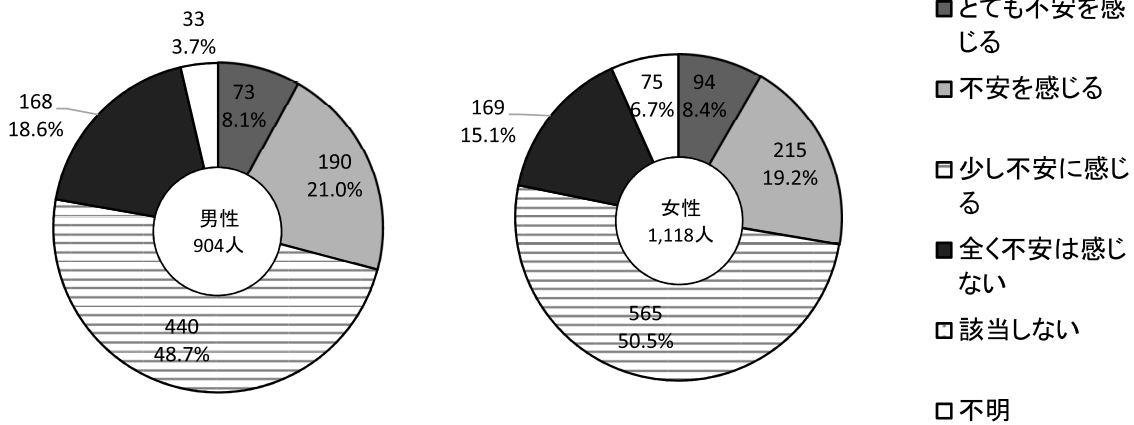
## イ 心身の健康

心身の健康について、悩みや不安をみると、「とても不安を感じる」が8.5%、「不安を感じる」が19.8%、「少し不安を感じる」が49.7%で、“不安がある”割合の合計は78.0%となっている。

問10-(2) 心身の健康



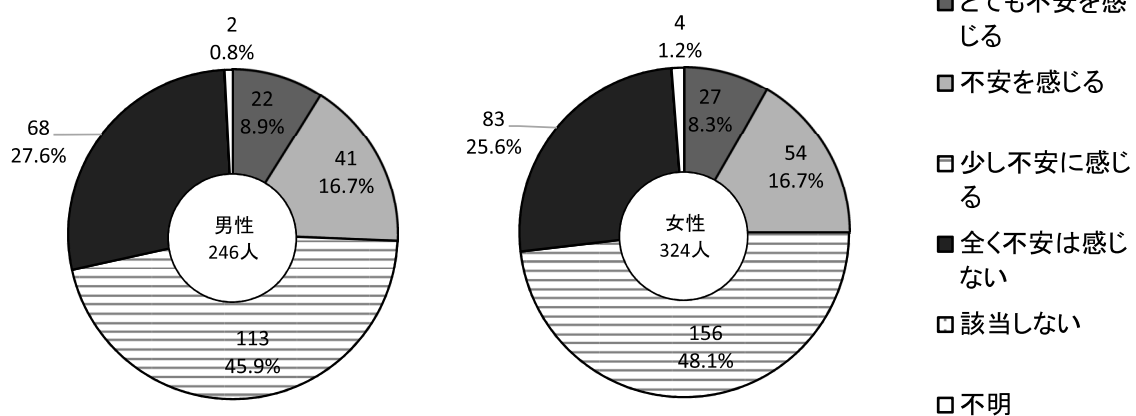
問10-(2) 心身の健康【男女別】



男女別にみると、心身の健康について“不安がある”割合の合計は、男性が77.8%、女性が78.1%と、男女ともに不安を感じている割合が8割近くに達している。

50歳未満でみると、“不安がある”割合の合計は男性71.5%、女性73.1%で、男女共に全体よりも不安感は若干下がるものの比較的若い世代でも7割以上となっている。

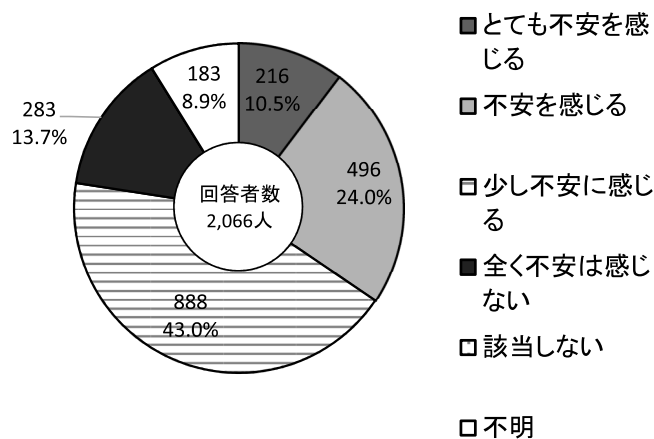
問10-(2) 心身の健康【男女別・50歳未満】



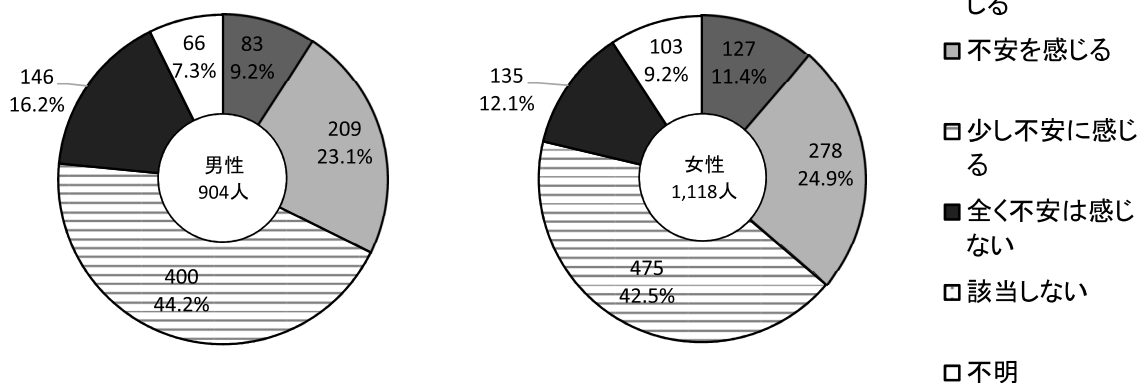
## ウ 自分自身や家族の介護

自分自身や家族の介護について、悩みや不安をみると、「とても不安を感じる」が 10.5%、「不安を感じる」が 24.0%、「少し不安を感じる」が 43.0%で、“不安がある”割合の合計は 77.5%となっている。

問 10- (3) 自分自身や家族の介護



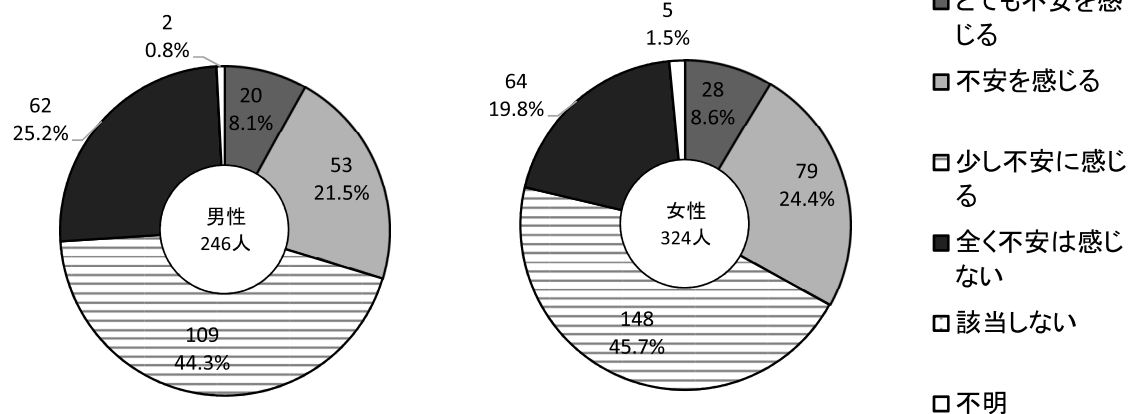
問 10- (3) 自分自身や家族の介護【男女別】



男女別にみると、自分自身や家族の介護について“不安がある”割合の合計は、男性が 76.5%、女性が 78.8%と、男女ともに不安を感じている割合が 8割近く、特に女性の不安感は男性よりも若干高くなっている。

50歳未満でみると、“不安がある”割合の合計は男性 73.9%、女性 78.7%で、男性の不安感は全体よりも若干下がるものの、女性は自分自身や家族の介護について、より強く不安感を抱いていることがうかがえる。

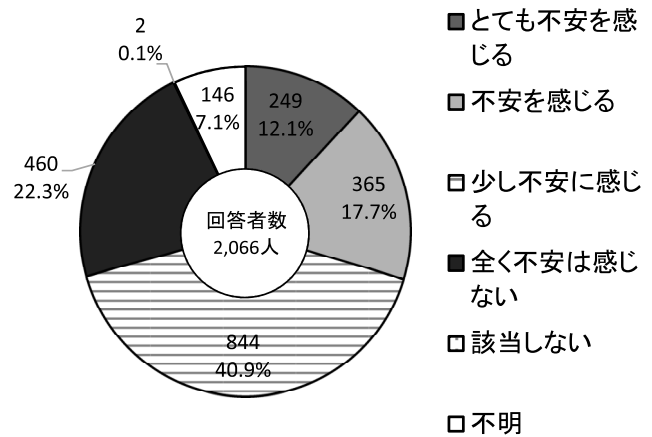
問 10- (3) 自分自身や家族の介護【男女別・50歳未満】



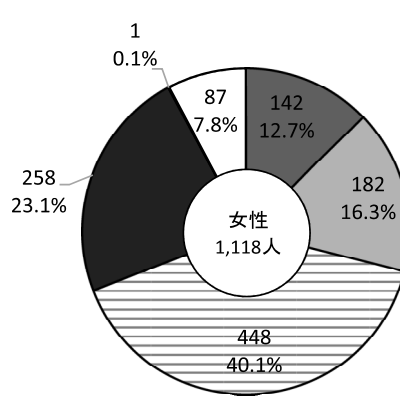
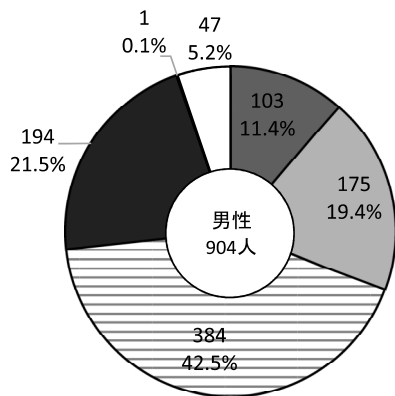
## エ 経済的な問題

自分自身や家族の介護について、悩みや不安をみると、「とても不安を感じる」が 12.1%、「不安を感じる」が 17.7%、「少し不安を感じる」が 40.9%で、“不安がある”割合の合計は 70.7%となっている。

問 10－（４） 経済的な問題



問 10－（４） 経済的な問題【男女別】

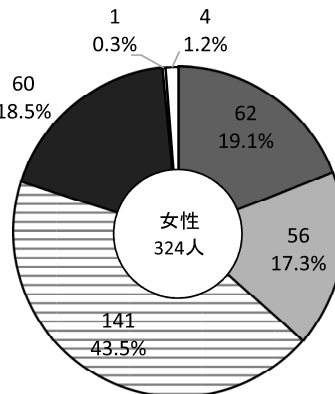
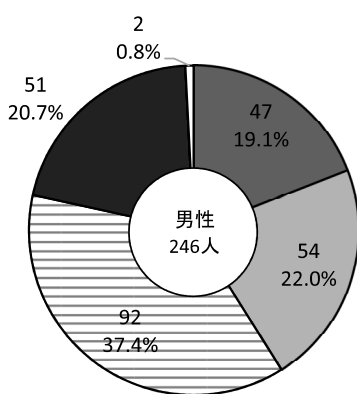


- とても不安を感じる
- 不安を感じる
- 少し不安を感じる
- 全く不安は感じない
- 該当しない
- 不明

男女別にみると、経済的な問題について“不安がある”割合の合計は、男性が 73.3%、女性が 69.1%と、男性の不安感は女性よりも若干高くなっている。

50歳未満でみると、“不安がある”割合の合計は男性 78.5%、女性 79.9%で、男女共に不安感は 8割近くに達している。特に男性では、「不安を感じる」項目の割合が女性より高くなっており、比較的若い世代の男性は、経済的に不安を抱えていることがうかがえる。

問 10－（４） 経済的な問題【男女別・50歳未満】



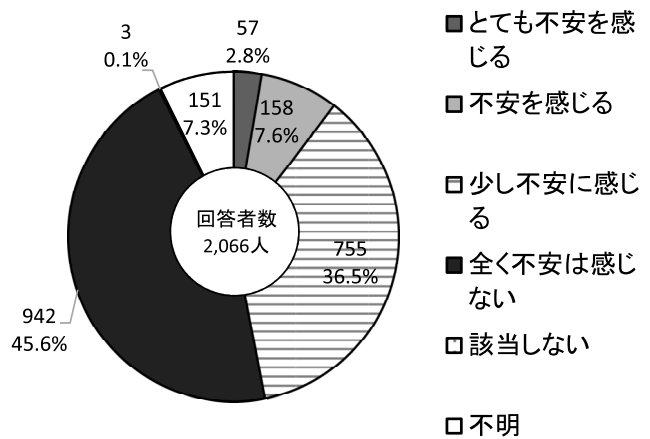
- とても不安を感じる
- 不安を感じる
- 少し不安を感じる
- 全く不安は感じない
- 該当しない
- 不明

## オ ご近所や地域との付き合い

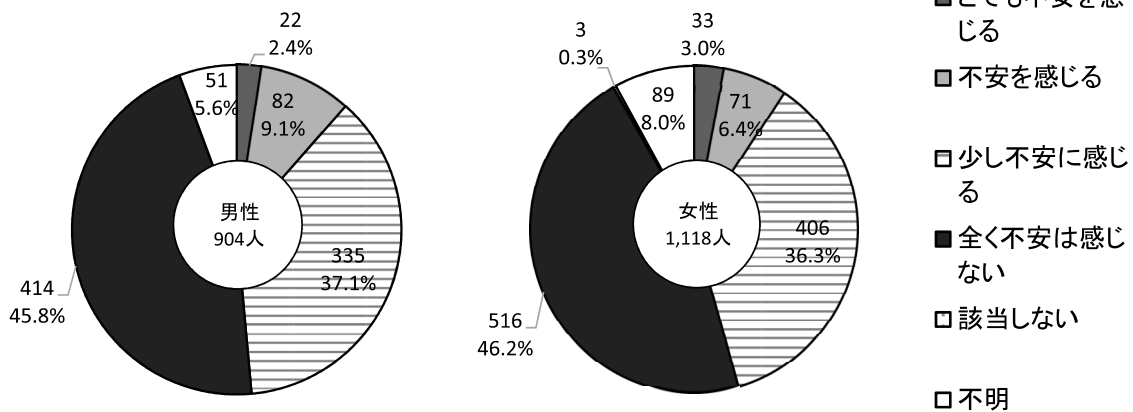
ご近所や地域との付き合いについて、悩みや不安をみると、「とても不安を感じる」が2.8%、「不安を感じる」が7.6%、「少し不安を感じる」が36.5%で、「不安がある」割合の合計は46.9%となっている。

この設問に関しては、「全く不安がない」が45.6%で、不安感ありと不安感無しがほぼ同じ割合となっている。

問10-(5) ご近所や地域との付き合い



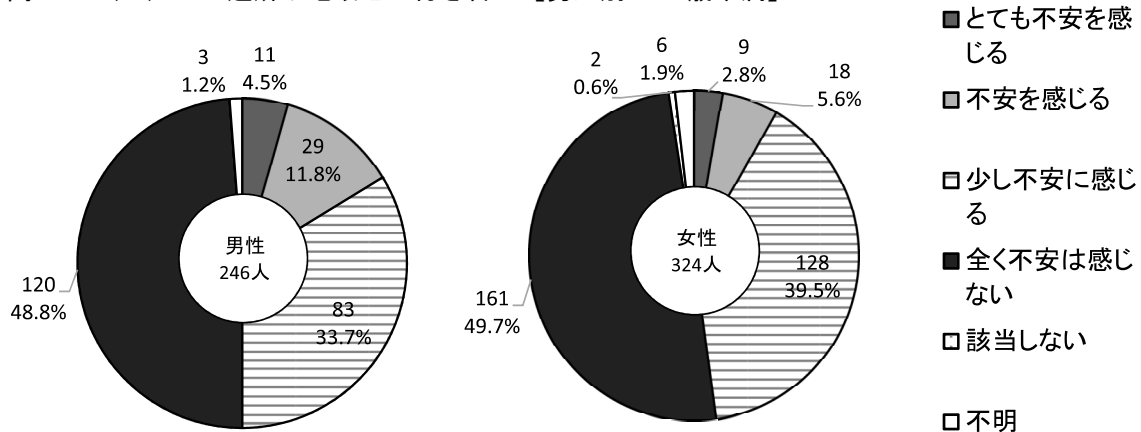
問10-(5) ご近所や地域との付き合い【男女別】



男女別にみると、ご近所や地域との付き合いについて“不安がある”割合の合計は、男性が48.6%、女性が45.7%と、男女共に半数以下となっている。

50歳未満でみると、“不安がある”割合の合計は男性50.0%、女性47.9%で、男女共に不安感が全体よりも若干あがっているものの、「全く不安は感じない」割合が約5割となっている。

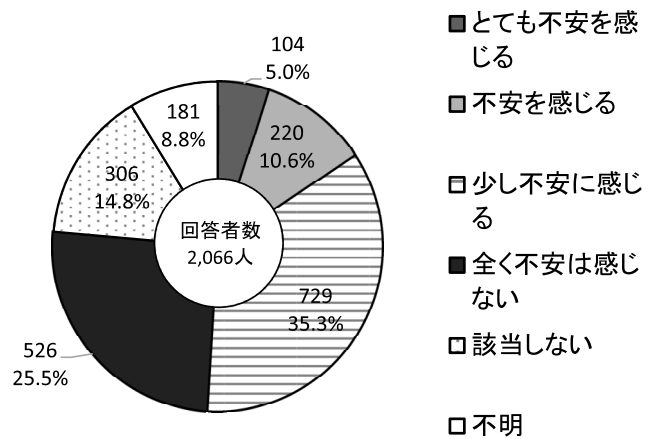
問10-(5) ご近所や地域との付き合い【男女別・50歳未満】



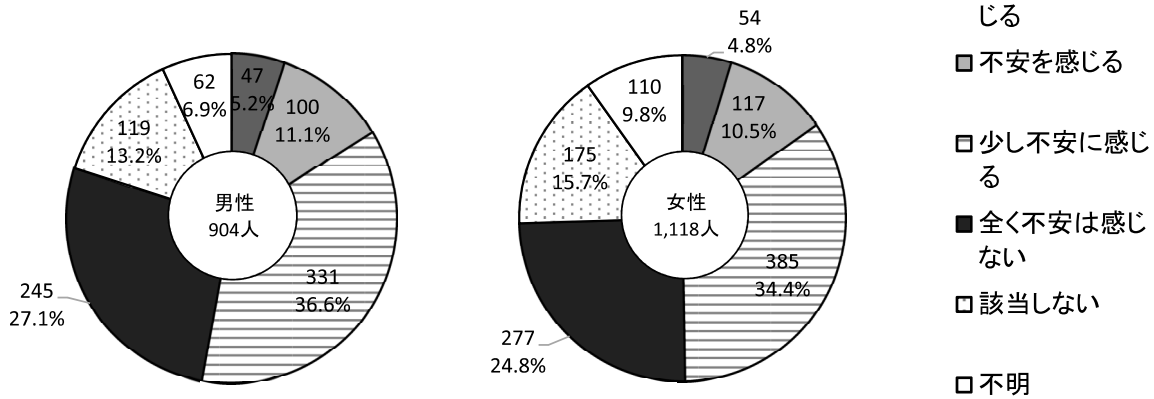
## カ 仕事と生活（家庭生活や地域活動・個人の生活）の両立

問10-（6） 仕事と生活（家庭生活や地域活動・個人の生活）の両立

仕事と生活（家庭生活や地域活動・個人の生活）の両立について、悩みや不安をみると、「とても不安を感じる」が5.0%、「不安を感じる」が10.6%、「少し不安を感じる」が35.3%で、「不安がある」割合の合計は50.9%となっている。



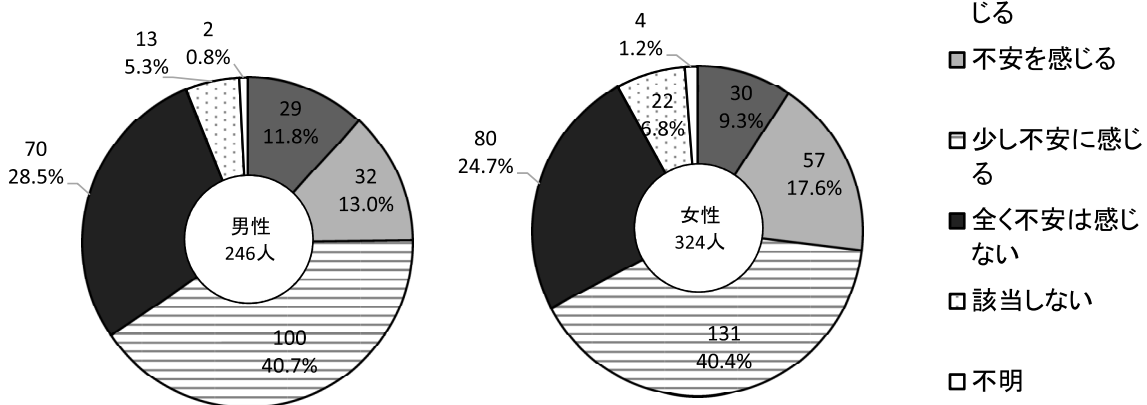
問10-（6） 仕事と生活（家庭生活や地域活動・個人の生活）の両立【男女別】



男女別にみると、仕事と生活の両立について“不安がある”割合の合計は、男性が52.9%、女性が49.7%と、男女共に5割程度だが、男性の方が若干高い割合となっている。

50歳未満でみると、“不安がある”割合の合計は男性65.5%、女性67.3%で、男女共に不安感が全体よりも男女共に大幅に上昇している。特に女性では全体よりも2割近く不安感が上昇しており、仕事と生活の両立に不安を抱えていることがうかがえる。

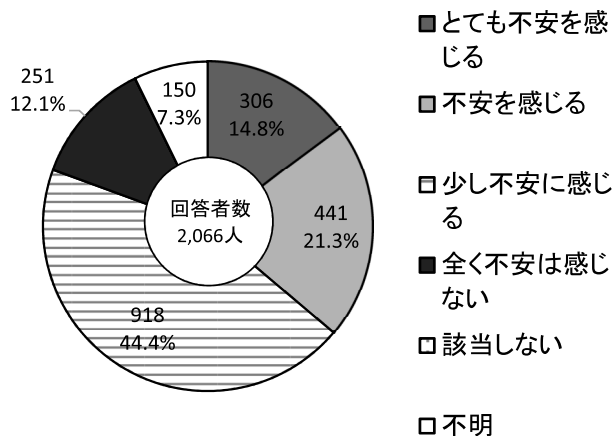
問10-（6） 仕事と生活（家庭生活や地域活動・個人の生活）の両立【男女別・50歳未満】



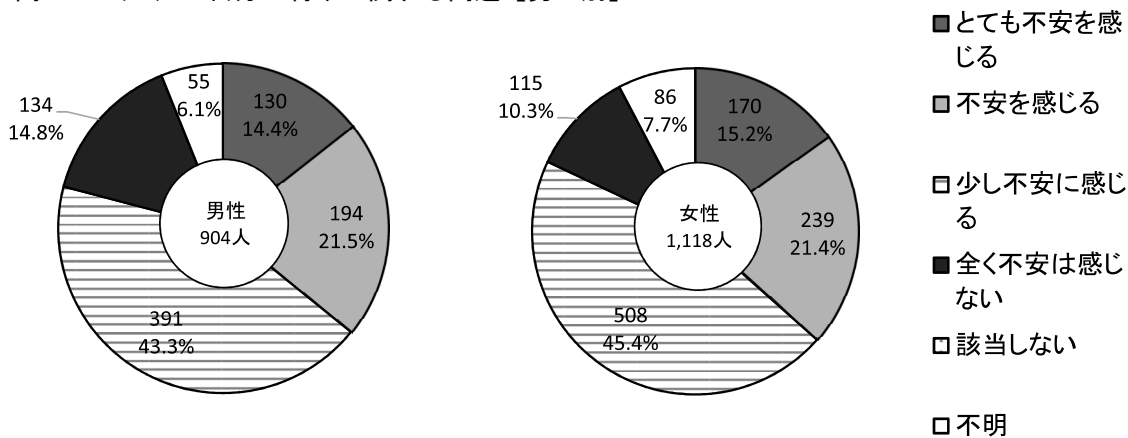
## キ 自分の将来に関する問題

自分の将来に関する問題について、悩みや不安をみると、「とても不安を感じる」が14.8%、「不安を感じる」が21.3%、「少し不安を感じる」が44.4%で、“不安がある”割合の合計は80.5%となり、多くの人が自分の将来について不安を感じている。

問10-(7) 自分の将来に関する問題



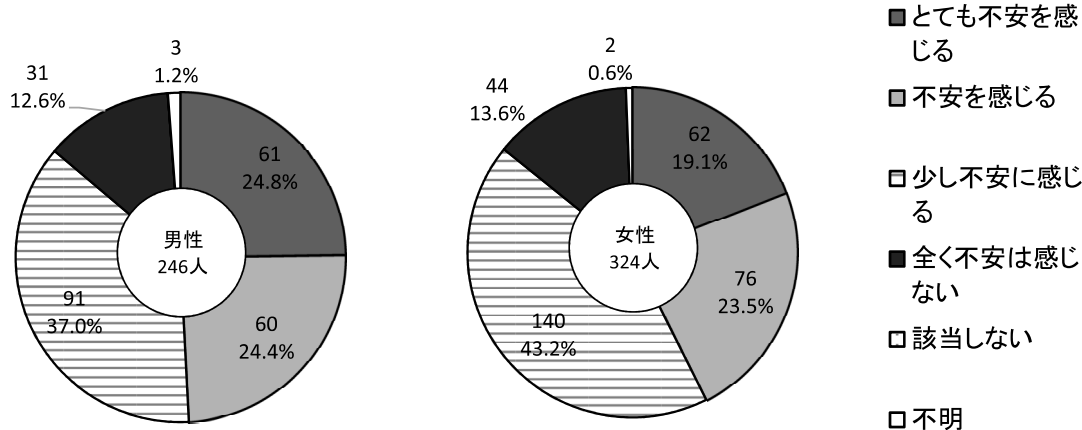
問10-(7) 自分の将来に関する問題【男女別】



男女別にみると、自分の将来に関する問題について“不安がある”割合の合計は、男性が79.2%、女性が82.0%と、男女共に8割となっている。

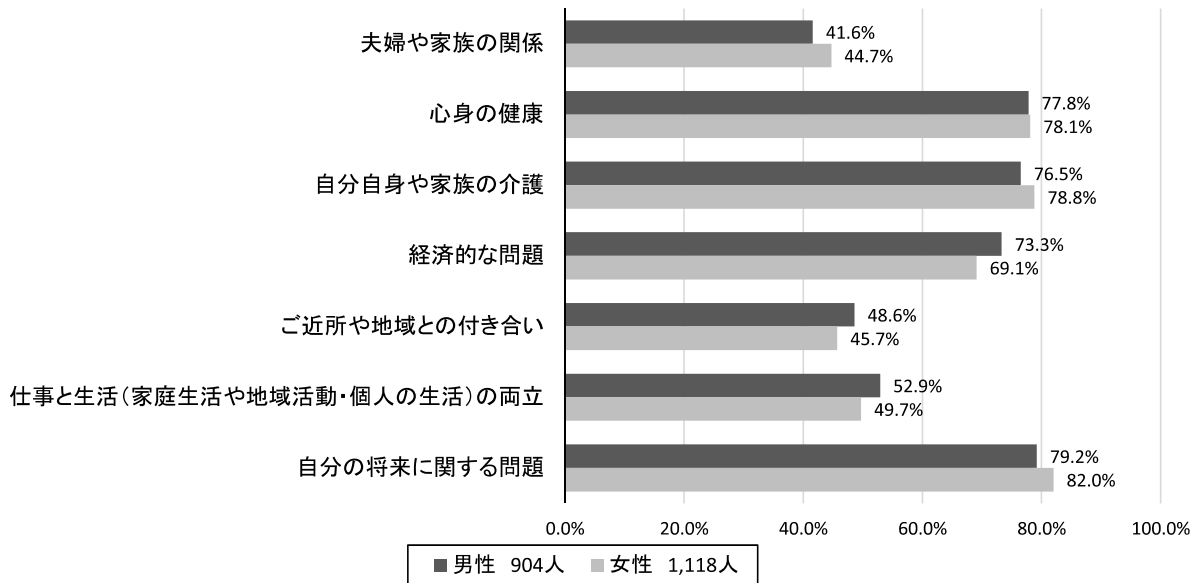
50歳未満でみると、“不安がある”割合の合計は男性86.2%、女性85.8%で、男女共に不安感が全体よりもあがっている。特に男性では、「とても不安を感じる」と「不安を感じる」の合計でも半数近くとなり、比較的若い世代の男性の多くが自分の将来に強い不安を感じていることがうかがえる。

問10-(7) 自分の将来に関する問題【男女別・50歳未満】



## ク 家庭生活や地域活動に悩みや不安がある人（項目比較）

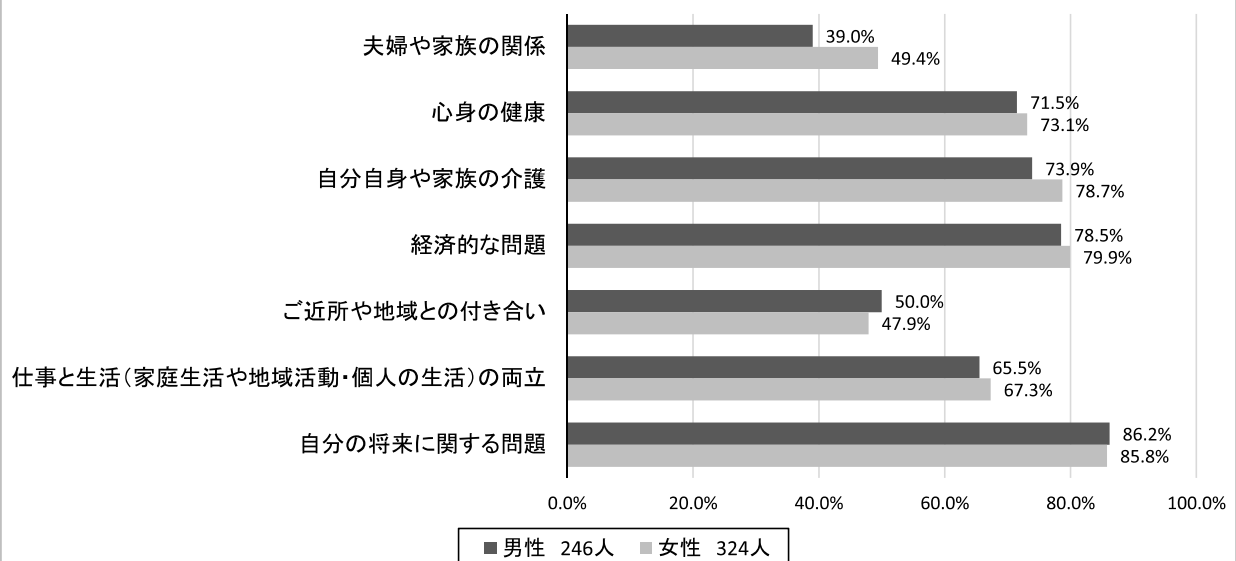
問10 「とても不安を感じる」「不安を感じる」「少し不安を感じる」人の合計【男女別】



家庭生活や地域活動に悩みや“不安がある”割合（「とても不安を感じる」「不安を感じる」「少し不安を感じる」割合の合計）を項目で比較すると、男女共に「自分の将来に関する問題」が最も高く、次いで、男性では「心身の健康」、女性では「自分自身や家族の介護」となっている。

50歳未満でみると、“不安がある”割合では、男女共に「自分の将来に関する問題」が最も高く、次いで「経済的な問題」「自分自身や家族の介護」となっており、比較的若い世代では経済的な問題が悩みや不安の大きな要因になっていることが考えられる。また、「夫婦や家族の関係」について、女性は男性よりも“不安がある”割合が1割ほど高く、男女で感じ方の差があらわれている。

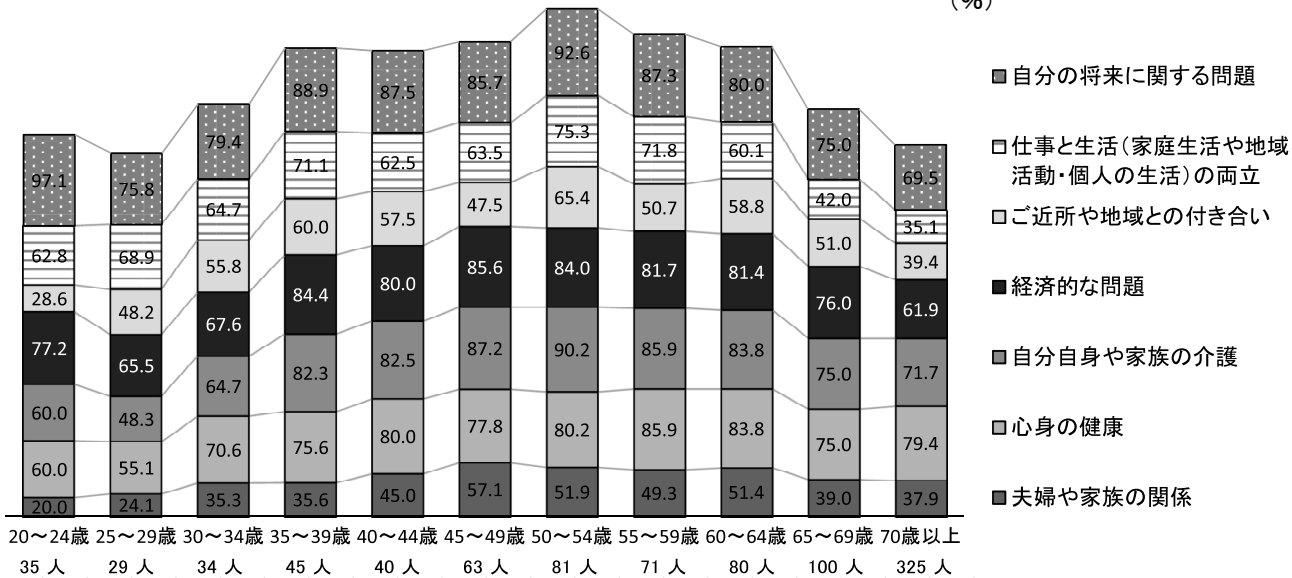
問10 「とても不安を感じる」「不安を感じる」「少し不安を感じる」人の合計【男女別・50歳未満】



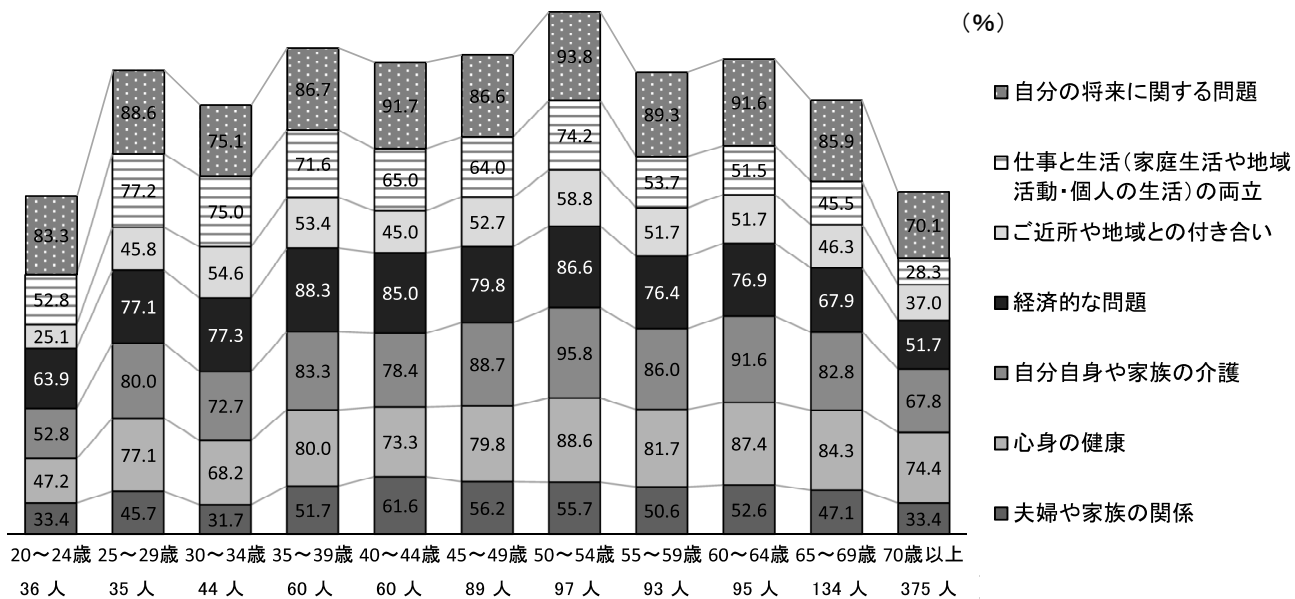


問10 「とても不安を感じる」「不安を感じる」「少し不安を感じる」人の合計

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】

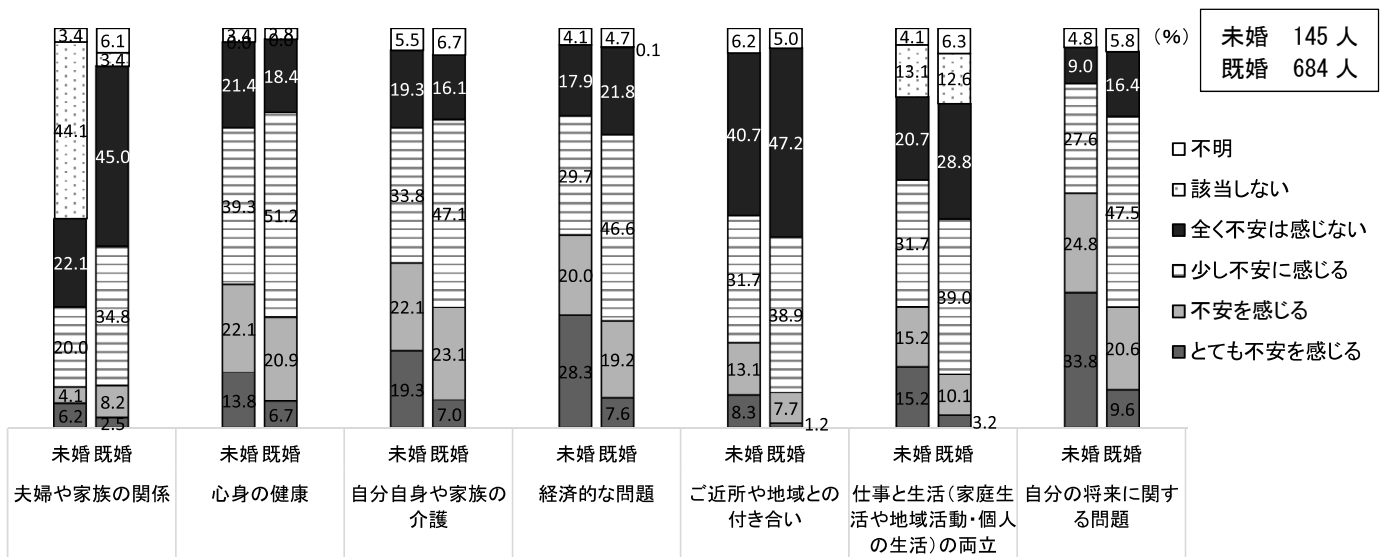


年齢別にみると、項目全体としては、男女共に年齢層が上がるにつれて“不安がある”割合の累積が上昇し、50代前半頃をピークに徐々に下がるという傾向にあり、50代前半頃が悩みや不安を抱えやすい年齢層であることがうかがえる。

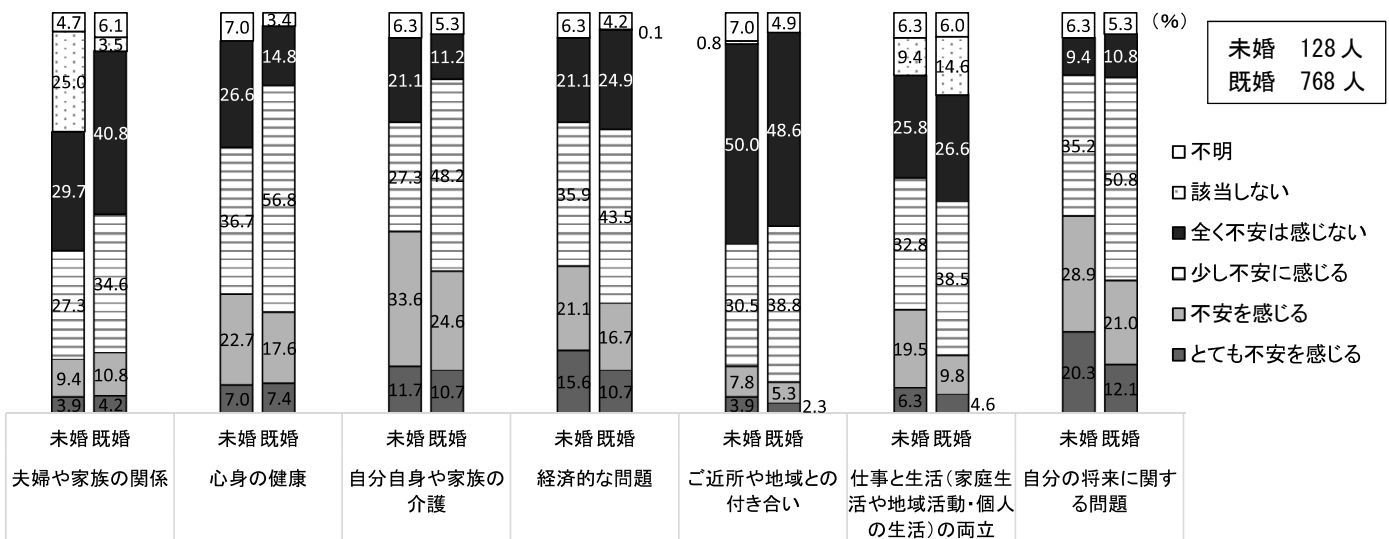
特に、50代前半では、男女共に「自分自身や家族の介護」や「自分の将来に関する問題」に9割以上が不安や悩みを抱えており、特に女性における「自分自身や家族の介護」の不安や悩みはほとんどの人が感じている状況となっている。

問 10 家庭生活や地域活動への悩みや不安

【男性・未婚既婚の別】



【女性・未婚既婚の別】



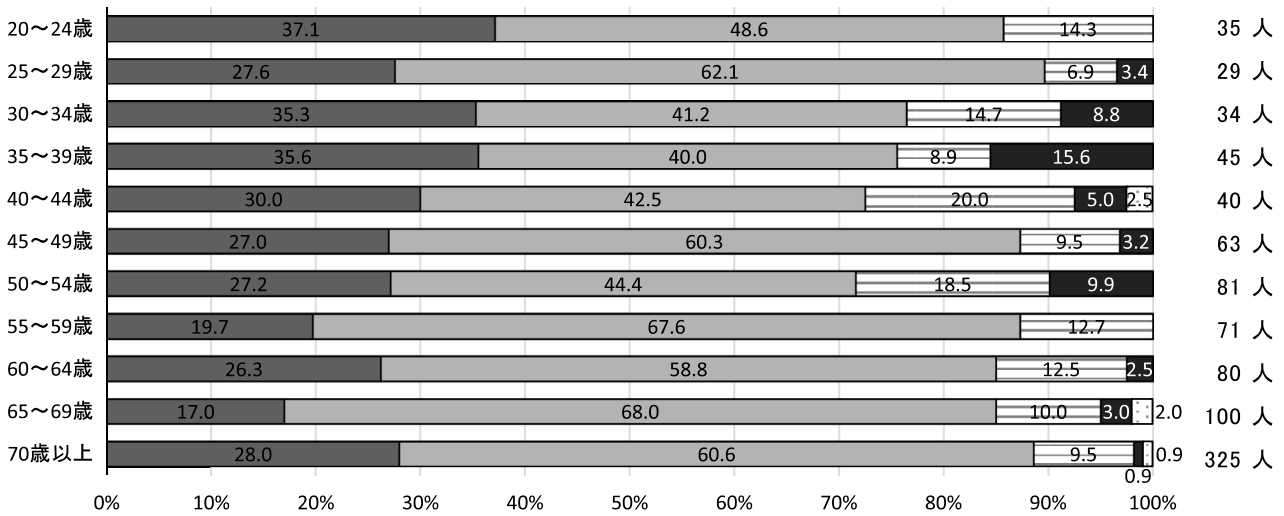
未婚・既婚の別にみると、男性では、「夫婦や家族の関係」以外の項目で総じて未婚者のほうが強い不安を抱えている（「とても不安を感じる」又は「不安を感じる」）割合が高くなっている。特に男性では、未婚者の「自分の将来に関する問題」での不安が強くなっている。

女性でも同様な傾向がみられ、総じて未婚者のほうが強い不安を抱えている割合が高くなっている。

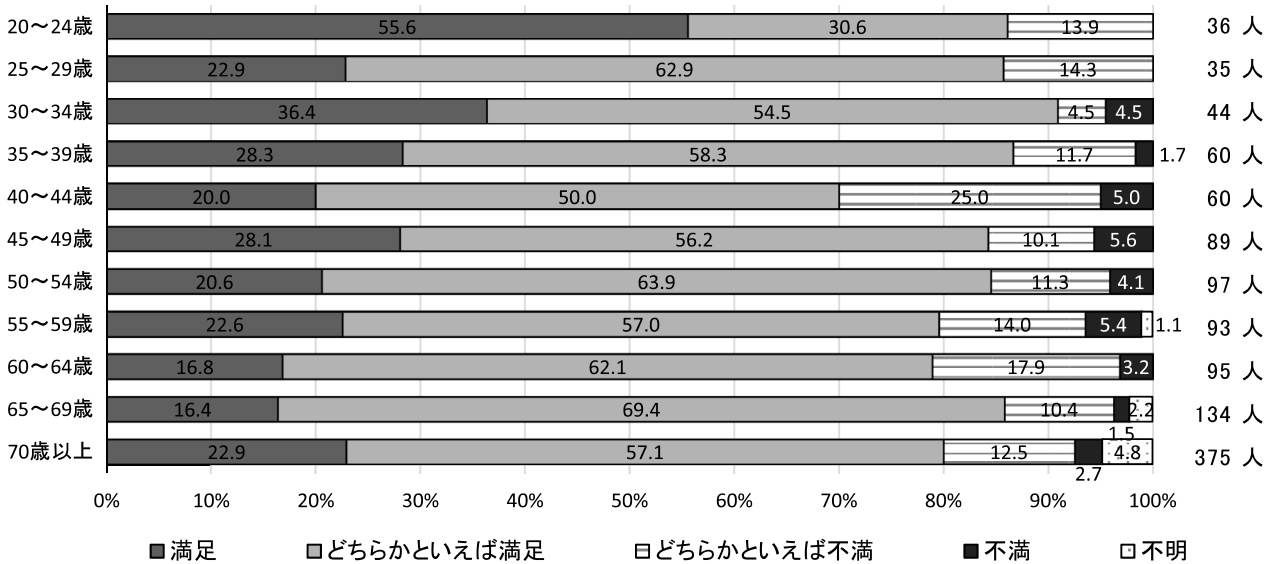


問 11 現在の家庭生活に満足しているか

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



年齢別にみると、現在の家庭生活に“満足”している割合は、男女共にどの年齢層も7割以上であるものの、男性の30代から40代前半及び50代前半、女性では40代前半の年齢層で、“満足”の割合が相対的に低くなっており、家庭での子育ての大変な時期と、働き盛りで仕事が忙しい時期が重なる頃に家庭生活での満足が得られにくくなる状況がうかがえる。